別冊

主要施策・事業調書

自己評価基準

◎　順調

○　概ね順調

△　やや順調でない

×　順調でない

ー　未実施

基本目標	基本方針	主要施策
1　未来を拓く子どもの育成	1　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成	1　学力及び体力の向上
		2　豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進
		3　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供
	2　郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成	1　郷土を愛する心の育成
		2　国際感覚豊かな人材の育成
	3　個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進	1　ＳＤＧＳsの理念を取り入れた学習の推進
		2　特別支援教育の充実
2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興	1　生涯学習の推進	1　社会教育事業の推進
		2　公民館事業の推進
		3　図書館・視聴覚センター事業の推進
		4　文化研修センター事業の推進
	2　文化・芸術の振興	1　文化・芸術活動の推進
		2　文化財の保存と活用
		3　文化財調査の実施
		4　博物館事業の推進
	3　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進	1　スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進
		2　新型コロナウイルス感染症対策を講じた各種スポーツイベントの充実と開催
		3　地域スポーツの推進
		4　スポーツ関係団体の育成
		5　プロスポーツを活用した地域振興
		6　スポーツを通じた交流の促進
3　豊かな学びを支える教育環境づくり	1　社会総がかりで取り組む教育環境づくり	1　青少年健全育成事業の推進
		2　子供読書活動の推進
	2　子供と向き合う教育環境づくり	1　相談体制の充実
		2　不登校への対応
		3　安全・安心な学校づくりの充実
		4　これからの学校経営の在り方の検討
		5　被災及び新型コロナウイルス感染に関する児童生徒への支援
		6　教職員等の資質の向上
		7　生徒指導の充実
	3　安全・安心な教育環境の構築	1　学校施設・設備の充実
		2　社会教育施設・設備の充実
		3　社会体育施設・設備の充実
		4　社会体育施設管理の充実

令和４年度点検評価施策・事業一覧

施策	No.	事　業　名	自己 評価	
			課長	担当
1-1-1	1	学校の教育力向上推進事業	○	○
	2	学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）	◎	◎
	3	体力づくり推進事業	○	○
1-1-2	4	道徳教育の推進	○	○
	5	人権・同和教育推進事業	○	○
1-1-3	6	学校給食の充実及び地産地消推進事業	○	○
	7	食育推進事業	○	○
	8	衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備	○	○
	9	モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業	○	○
	10	給食費の公会計制度による事務処理の推進	○	○
1-2-1	11	郷土を愛する心の育成推進事業	○	○
	12	キャリア教育推進事業	○	○
1-2-2	13	ＡＬＴ活用指導充実事業	○	○
	14	英語コミュニケーション能力育成事業	◎	◎
1-3-1	15	主体的、対話的で深い学びの推進	○	○
1-3-2	16	こども発達支援室と他部署との更なる連携強化	○	○
	17	こども発達支援センターへの移行検討	○	○
2-1-1	18	自治組織と公民館の在り方の検討	○	○
	19	新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全面に配慮した成人式の開催	○	○
	20	社会教育関係団体活動支援事業	○	○
	21	公民館及び分館活動支援事業	○	○
	22	人権・同和教育推進事業	○	○
2-1-2	23	大洲市民大学	◎	◎
	24	科学体験フェスティバルin大洲事業	○	○
	25	学級講座事業	○	○
2-1-3	26	図書館資料収集整理事業	○	○
	27	読書活動推進事業	○	○
	28	視聴覚教育推進事業	○	○

施策	No.	事　業　名	自己 評価	
			課長	担当
2-1-4	29	パソコン教室事業	○	○
2-2-1	30	親と子のコンサート事業	◎	○
	31	文化・芸術団体活動支援事業	○	○
	32	愛媛国際映画祭推進事業	◎	◎
2-2-2	33	文化財保存活用及び顕彰事業	◎	◎
	34	民俗芸能保存団体活動支援事業	○	○
2-2-3	35	指定文化財見直し事業	○	○
	36	市内遺跡確認調査事業	◎	◎
	37	市内絵馬調査事業	○	○
2-2-4	38	資料収集整理事業	○	○
	39	展示活動事業	△	○
	40	教育活動事業	○	○
2-3-1	41	大洲市スポーツ推進計画の施策の推進	○	○
	42	健康寿命延伸事業の推進	○	○
	43	ＤＸを活用した事業の推進	△	○
2-3-2	44	大洲市カヌーツーリング駅伝大会	○	○
	45	大洲市駅伝大会	○	○
	46	大洲市健康マラソン大会	○	○
	47	ドリーム・ベースボール（八幡浜・大洲地区運動公園野球場・陸上競技場復旧記念イベント）	◎	○
2-3-3	48	各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業	○	○
	49	スポーツ推進委員育成事業	○	○
	50	体育施設活用事業	○	○
2-3-4	51	スポーツ協会活動事業	○	○
	52	スポーツ少年団等活動事業	○	○
	53	中学校地域運動部活動推進事業の検討	○	○
2-3-5	54	愛媛ＦＣ・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業	○	○
2-3-6	55	愛・野球博関連事業	○	○
3-1-1	56	学校・家庭・地域連携推進事業	○	○
	57	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	○	○
	58	市ＰＴＡ連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援	○	○

施策	No.	事　業　名	自己 評価	
			課長	担当
3-1-1	59	「家族の出番です」通信講座事業	○	○
	60	青少年健全育成推進協議会活動支援事業	○	○
	61	青少年センター運営事業	○	○
3-1-2	62	第２次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施	△	△
3-2-1	63	スクールソーシャルワーカー活用事業	○	○
	64	ハートなんでも相談員設置事業	○	○
	65	スクールカウンセラー活用事業	○	○
	66	教職員メンタルヘルス・個別相談事業	○	○
3-2-2	67	おおずふれあいスクール運営事業	○	○
3-2-3	68	防災・安全教育推進事業	○	○
3-2-4	69	学校運営協議会設置事業（コミュニティ・スクールの導入・推進）	◎	◎
	70	学校における働き方改革の推進	○	○
3-2-5	71	心のケア事業	○	○
3-2-6	72	大洲市教育研究所運営事業	○	○
3-2-7	73	いじめ・不登校対策協議会推進事業	○	○
3-3-1	74	学校施設耐震対策事業	◎	◎
	75	学校施設長寿命化改修事業	○	○
	76	閉校施設除却事業	○	○
3-3-2	77	公民館改築事業	◎	◎
	78	社会教育施設維持修繕等事業	○	○
3-3-3	79	社会体育施設の充実と活用	○	○
	80	カヌー艇庫整備	◎	○
3-3-4	81	大洲市総合体育館等の指定管理体制の構築	○	△

順調	◎	12	9
概ね順調	○	66	70
やや順調でない	△	3	2
順調でない	×	0	0
未実施	ー	0	0
計		81	81

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	１　学力及び体力の向上				
事業名	１　学校の教育力向上推進事業				
目的	全国学力・学習状況調査等の調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果をもとに、各小中学校の実態を把握し、各小中学校の実態に応じた学力及び体力の向上を図る。				
事業実施状況	全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査をもとに、全国や県との比較をしたり、各小中学校の実態の把握に努めたりした。 学力に関しては、購入した教材等による学習内容の定着を図るよう各校の学力向上推進主任と共通理解を図るとともに情報交換に努めた。また、小中学校各１校において学力向上推進主任会を開催。授業を参観し、学力向上のために校内で取り組んでいることを共有するとともに、市内統一テストや質問紙調査の分析や経年比較をしたり、学力向上のためのアドバイスを行ったりした。また、各小中学校の情報を共有するとともに、それぞれの改善点について話合いを行った。 学力向上に長期的に取り組むための基礎資料として、小学校１・２年生を除き、全国学力・学習状況調査を実施しない学年で「市内統一学力テスト」を実施した。また、学力向上の基本となる学級経営や生徒指導を充実させるため、その指針となる「質問紙による実態調査」を全学年で実施した。なお、この調査は、経年比較による継続的な取組が必要であるため、４年間を見据えたものとする。 ・先進地視察（中止） ・市内統一テスト（小学校３～５年、中学校１・２年） ・質問紙調査（小中学校全学年） ・教材購入等				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	5,062	5,053	4,969	4,908
	決算額	4,943	4,825	4,827	4,817
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.6%	95.5%	97.1%	98.1%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,943	4,825	4,827	4,817

事業の成果	各種調査の分析をもとに、学力の向上のための共通理解や情報交換を行うことができた。また、今年度も市内統一テストの実施や、学校・児童の実態に応じた教材等の活用、授業研究など、学力向上に向けて積極的に取り組むことができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	ＣＢＴ調査(ＥＩＬＳ)による県の学力調査等の分析で市全体の傾向が把握できるようになったため、令和５年度からは市内統一テストを廃止し、個別の学習支援と充実に向けたｗｅｂ学習教材の導入を行う。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所　属　名	教育総務課	係　名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	１　学力及び体力の向上				
事業名	２　学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）				
目的	一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の実現を目指し、ＩＣＴを効果的に活用した授業のあり方を検討するなど、「新しい学び」を推進して学力の向上に取り組む。 ＧＩＧＡスクール構想の推進のため、ＩＣＴ環境の効果的な活用等について研究を行う。				
事業実施状況	大洲市立小学校及び中学校の情報教育を推進するために必要な調査、研修等を行うために教職員で組織された大洲市学校情報教育推進協議会を活用し、学校の情報教育の推進に関する基本的な事項とＩＣＴ環境の整備及び利活用促進に関する検討を行った。 ○第19回協議会（５月20日） Ｒ４活動計画 ○ロイロノートスクール初級研修オンライン（５/12、18、26） ○ロイロノートスクール活用研修（6/20　50人） ○リーダー研修会（６月23日　18人） タブレット・校務端末に関する研修会 ○教育用ＴＢ活用研修（７月～８月） ｅライブラリー活用研修（７/４、５　31人） コラボノート活用研修（７/25　25人） SkymenuCloud活用研修（７/27　15人） ロイロノートスクール活用研修（８/５　34人） ロイロノートスクール健康観察研修（８/８　16人） 校務支援システム検討会（８/９　46人） デジタル教科書活用研修（８/17、26　11人） ○校務支援システム改善要望まとめ（10月） ○第20回協議会（11月28日） 前期の活動確認と後期の予定確認 ○タブレット活用専門委員会小学校部会、中学校部会 （１/26、１/30） ○第21回協議会（３月２日） 今年度の取組及び次年度計画について				

２　学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	学習用タブレットにインストールされているソフトウェアの活用力を高めるとともに、タブレット活用の意欲化が図ることができた。また、県独自のＩＣＴ支援システムやＣＢＴテストの活用も進み、各校の利用や活用も定着してきた。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点	各教科におけるＩＣＴ活用スキルの目標設定をする必要がある。 令和６年度で、校務支援システム等の更新時期を迎えるため、専門委員会などにおいて検討を進める必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	１　学力及び体力の向上				
事業名	３　体力づくり推進事業				
目的	各小中学校の実態等に応じた取組を推進する。県教委が設けているＩＴスタジアムを積極的に活用し、基礎体力と運動能力の向上を図る。				
事業実施状況	県教委が設けているＩＴスタジアムを積極的に活用するように、各学校に呼び掛けた。 ・チャレンジ部門　４種目 スローアンドキャッチラリー、チームジャンプ連続 ８の字ジャンプ、チームリレー ・ポイント獲得部門　エブリィデイスポーツ みんなで逆上がり、みんなで縄跳び、みんなでジャンプ みんなでキック、みんなでランニング、みんなでダンス みんなでリズム水泳、みんなでアスレチック えがおダンス、えがお体操 ・創作部門　2種目 レッツリズムダンス、体力アップエクササイズ チャレンジ部門において、大洲小学校４年２組が長なわ跳びで３位、大洲小学校６年１組がチームリレーで３位なり表彰を受けたほか、各部門において、入賞校が多数あり、各校のがんばりが見られた。 全小中学校において「体力アップ推進計画」を立案して具体的施策に取り組み、年度末には成果と課題を明確にして次年度につなげた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	ＩＴスタジアムに市内全小学校が参加している。 チャレンジ部門において、上位に入賞したり、10位以内に入賞する学校が多くあったりするなど、各校のがんばりが見られた。研修会を通して、体育授業の改善や運動・スポーツ活動の効果的指導方法を身に付けることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	さらに、運動の習慣化や運動することへの意欲を高め、日常的な体力向上に取り組む具体的な工夫が必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	２　豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事業名	４　道徳教育の推進				
目的	教科化された道徳科について、新学習指導要領に基づいた指導計画の作成を行うとともに、授業改善や評価方法の研修を進める。				
事業実施状況	各校において、新学習指導要領に基づいて作成した指導計画を見直したり、授業改善、評価方法の研修を行ったりするよう呼び掛けた。 愛媛県総合教育センター「愛媛学びの森学習支援サイト」に掲載された「愛媛県特色ある道徳教育推進事業研究推進校の研究概要」を、道徳教育の推進に向け、活用するように呼び掛けた。 また、各校において道徳教育に関する研修を行うとともに、各校の道徳教育推進教師や教務主任が中心となって、評価方法について情報交換を行った。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	大洲市教育研究所道徳班会等において研修・情報交換を行ったり、各校において道徳教育の研修を行ったりして、道徳教育を推進することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	「特別の教科　道徳」として充実させるため、年間指導計画や指導・評価方法等のさらなる検証をしていく必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	２　豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事業名	５　人権・同和教育推進事業				
目的	各小中学校における人権・同和教育の指導計画を見直し、学校の状況に応じた適切な指導を進める。また、教職員の研修が深まるよう支援を行う。				
事業実施状況	人権・同和教育の全体計画と年間指導計画について、各校での見直しや点検、教育委員会事務局での確認を行い、事業の充実を図った。 ポイントは次の２点である。全体計画は、学校における人権・同和教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、人権・同和教育の目標を達成するための方策を総合的に示したものであること。年間指導計画は、全体計画に基づき、児童生徒の発達段階に即して各年度に行う人権・同和教育の指導内容・方法等を具体化した全学年にわたる指導計画であること。 令和４年度は、愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市会場)には20人が参加して、校内研修に役立てた。また、南予地区人権・同和教育研究協議会(伊方町会場)においては、24人が参加し、平野中学校が実践発表を行った。今年度は、肱東中学校と肱川小学校の取組について実践報告をしていただき、各分科会で熱心な協議を行うことができた。また、人権・同和教育主任班会において各校の取組等について研修を行った。 新型コロナウイルス感染症に関連する差別やいじめ等の防止や性的マイノリティ等について、各校に情報を提供するとともに、積極的に取り組むよう働き掛けた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	各学校の人権・同和教育主任が、開催された研究会に参加して、校内の人権・同和教育の全体計画と年間指導計画に活用することができた。 新型コロナウイルス関連の差別の防止に向けて取り組むことができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	人権・同和教育の全体計画と年間指導計画は、年度末の課題をもとに、見直し改善する必要がある。小中学校の校則検討委員会でも性的マイノリティ等への多様な対応が協議されているため、差別等への対策に向けて更に取り組む必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	学校給食センター	係名	庶務係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	1　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	3　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事業名	6　学校給食の充実及び地産地消推進事業				
目的	栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食を提供するとともに、大洲産の生鮮野菜、果物類の使用率のさらなる向上と調達の安定化を図る。				
事業実施状況	献立や食材に児童生徒の意見を取り入れながら、栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食の提供に努めた。 また、大洲産の生鮮野菜・果物類使用率の更なる向上と調達の安全を図るため、「愛たい菜」や地元納入業者との連携を密にして、供給ルートの確保、端境期対策に努めた。 1　給食実施状況 ◎大洲市学校給食センター（対象校 24校） ・給食実施日数 193日　・実施食数 611,460食 2　リクエスト献立　20校【小12校・中８校】 3　アレルギー対応 ・アレルギーのある児童・生徒等の把握　205人 ・アレルギー献立表の送付　52人 ・アレルギー対応食の提供　41人 4　大洲産使用率（重量ベース） ・生鮮野菜　68.9% ・お米（大洲産にこまる）100% 5　「愛たい菜」との連携 愛たい菜に毎月献立表を送付して地元野菜の使用可能量を把握し、発注時に調整を行った。 6　旬の地元産食材活用のための献立検討 地産多消推進協議会の助成金を活用した献立の実施				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	リクエスト献立や大洲の食材を使ったメニューなど、趣向を凝らした完全給食事業が実施できた。 生鮮野菜のほか、地元産の冷凍野菜や季節に応じた果物を使用し、地産地消率は68.9%となった。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	悪天候による不作や端境期に影響されない作物の利用、開発の依頼が必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	学校給食センター	係名	庶務係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	1　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	3　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事業名	7　食育推進事業				
目的	食育指導や施設の見学をとおして、子どもたちが生きる力となる食に関する正しい知識を身につけ、保護者や市民に食育の大切さについて啓発を図る。				
事業実施状況	子どもたちが、生きる力となる食に関する正しい知識を身に付けるため、学校で食育指導を行い、保護者や市民を対象とした食育講演、食育ポスターコンクールの開催により、食に関する意識の啓発を図った。 1　給食センター施設見学対応 ⑴　施設数・・・５校 ⑵　見学者数・・・226人 2　講演、指導 ⑴　開催回数・・・・ 23回 ⑵　対象者数・・・・298人 ⑶　内　容 受験期の食事、小児生活習慣病予防教室、就学時健康診断での講話、栄養相談（27回） 3　食育コンクール ⑴　参加数・・・ポスター395件、標語1,296件 ⑵　応募数・・・ポスター355件、標語　349件				

事業年度		R2	R3	R4	
事業費	予算額	363	382	599	
	決算額	317	356	522	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	87.3%	93.2%	87.1%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	317	356	522	

事業の成果	給食センターの調理状況の視察、食に関する講演を実施することで、児童生徒や保護者に食の大切さを伝え、給食を作る人への感謝の心を育むことが出来た。 また、食育コンクールでは、食に関するポスターや標語を募集し、市役所ロビー・愛たい菜での作品展示や広報紙・公式ホームページに掲載を行うことで、子供だけでなく広く一般に地産地消や食の大切さについて啓発をすることが出来た。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	学校給食センター	係名	庶務係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	１　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	３　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事業名	８　衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備				
目的	調理従事者等の衛生管理に関する資質向上と意識啓発を図り、細菌検査、ノロウイルス検査による衛生管理の徹底を図る。 薬剤師の協力を得て施設を点検し、食中毒の発生防止を図る。				
事業実施状況	１　調理従事者等の衛生研修と細菌検査等の実施 調理従事者等の衛生管理研修を毎月行い、個々の資質向上と意識の啓発を図り、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 （１）ノロウイルス検査・・・・10月～３月（６回） （２）腸内細菌検査・・・・・・毎月２回 （３）調理従事者衛生研修・・・毎月１回 ２　施設の点検整備 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、施設の点検整備と徹底的な衛生管理に努めた。 第１学期　６月６日 第２学期　11月９日 第３学期　２月６日				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	355	335	181	182
	決算額	283	281	137	143
	繰越額	0	0		0
	執行率	79.7%	83.9%	75.7%	78.6%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	283	281	137	143

事業の成果	調理従事者等を対象とした衛生研修会を開催し、衛生管理の意識向上を図るとともに、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、学期ごとに施設の点検を行い、衛生管理の充実を図った。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	食中毒を防止し、安全・安心な給食を提供するため、学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する具体的な対策を検討し、ＰＦＩ事業者と連携して取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	学校給食センター	係名	庶務係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	1　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	3　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事業名	9　モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業				
目的	事業者が行う維持管理・運営業務に対し、定期的にモニタリングを実施し、業務の履行確認を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との情報交換などさらなる連携を図る。				
事業実施状況	事業者が行う維持管理・運営業務に対して日々の状況を確認しながら、関係者からのヒアリング、定期的なモニタリングを実施し、適切な業務執行の監視を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との綿密な情報交換などさらなる連携を図った。 ⑴事業者から月次及び４半期ごとの業務報告書の提出 ⑵事業者のセルフモニタリング（年４回実施） ⑶モニタリング及び運営委員会の実施 第１四半期（R4.7.13） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（センター付近市道の草刈りについて） 第２四半期（R4.10.11） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（備品カゴ、箸カゴの返却の仕方について） 第３四半期（R5.1.13） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（特になし） 第４四半期（R5.4.13） ○要求水準の確認（全員一致） ○運営委員会（お椀の返却の仕方について）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	年４回のモニタリングにより、施設・設備の維持管理と運営業務の適切な履行確認ができている。また、規定された時間内に配送できるよう、学校施設の改修予定や通行止めなどの情報を提供し、適切な対応ができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所　属　名	学校給食センター	係　名	庶務係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	1　確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主要施策	3　栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事業名	10　給食費の公会計制度による事務処理の推進				
目的	学校における働き方改革の一環として、教職員の教育活動時間の確保、給食費の安全管理を図ることを目的に、公会計化制度の適切な運用を行う。				
事業実施状況	令和３年４月より給食費を公会計化し運用を開始した。給食費の徴収については、原則として５月から２月までを定額徴収とし、年度末に精算徴収（還付）を行った。徴収した給食費は、食材等の調達費に充てた。 １　給食費や減免額等の単価設定、喫食者・給食費負担者・振替口座情報の入力、アレルギー、就学援助等各制度の入力など、基礎データの登録を行った。 給食費単価 幼稚園　215円／食 こども園　215円／食 小学校　270円／食 中学校　290円／食 牛乳アレルギー減免単価 （４月～10月） 幼稚園・こども園　▲62円／食 小学校・中学校　▲57円／食 （11月～３月） 幼稚園・こども園　▲65円／食 小学校・中学校　▲59円／食 ２　徴収前には学校給食費納入通知書を発送し、給食費徴収のお知らせを行った。 ３　５月～２月は月末を納期限として定額で徴収を行った。 幼稚園　3,300円／月（牛乳アレルギー2,400円／月） 小学校　4,600円／月（牛乳アレルギー3,600円／月） 中学校　4,700円／月（牛乳アレルギー3,800円／月） ４　３月には学校給食費変更通知書を発送し、月末に年度分の精算額の徴収（還付）を行った。 ５　給食費の徴収が困難な負担者には、児童手当からの徴収を行うなど徴収率の向上に務めた。				

10　給食費の公会計制度の実施					
事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	21	3,501	171,060	189,031
	決算額	21	3,198	165,592	167,401
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	91.3%	96.8%	88.6%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	165,592	166,874
	一般財源	21	3,198	0	527
事業の成果	学校給食費を公会計化制度での運用を行い、教職員の教育活動時間の確保、給食費の安全管理など、学校における働き方改革の一助となることができた。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	各学校が行っていた給食費の徴収管理業務を、給食センターと教育総務課で連携して行うため、増加した事務量を分担し、事務の効率化を図る必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	2　郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主要施策	1　郷土を愛する心の育成				
事業名	11　郷土を愛する心の育成推進事業				
目的	地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土愛を育むとともに、中学生版歴史副読本等を活用して郷土の先哲の足跡を学び郷土の文化や自然を継承していく心を培う。				
事業実施状況	1　中学生版歴史副読本の活用 令和２年度に改訂版を発行した「中学生版歴史副読本」を中学１年生全員に配布し、郷土の自然・歴史・風土・人物又は地域の伝統行事や風習に関する知識を深めた。 2　大洲のくらしの活用 小学校３・４年社会科副教材「大洲のくらし」を活用して、郷土の歴史や文化や自然を愛し、継承していく心を育んだ。 昭和39年に初版発行して以来、約５年ごとに見直しを行い、時代に則した内容に改訂している。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	2,102	1,485	0
	決算額		1,900	792	
	繰越額		0	0	
	執行率		90.4%	53.3%	
事業区分		ゼロ予算事業	市単独事業	市単独事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金		0	0	
	県補助金		0	0	
	地方債		0	0	
	その他特財		0	0	
	一般財源	0	1,900	792	0

事業の成果	中学生版歴史副読本及び大洲のくらしを社会科教材として使用するほか、総合的学習の時間等を活用し、地域の方を講師として講話を聞いたり、体験活動を行なったりすることにより、郷土の自然・歴史・風土・人物、及び伝統行事や風習に関する知識を深めることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	次回の改訂では、ＱＲコードによる動画再生など、タブレット学習を見据えた工夫をするなど、児童生徒の知的好奇心を刺激する内容にしたい。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	2　郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主要施策	1　郷土を愛する心の育成				
事業名	12　キャリア教育推進事業				
目的	生徒が「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択できるなど、社会人、職業人として自立していくことができるように５日間の職場体験等を実施する。				
事業実施状況	生徒が「生きる力」を身に付け、将来直面するであろう様々な課題に対して、柔軟にたくましく対応し、主体的に自己の進路を選択できるなど、健全な勤労観や職業観、社会人・職業人として自立できる資質や能力の育成を目指すキャリア教育が強く求められており、職場体験学習を実施している。 令和４年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため体験日数や活動に影響はあったが、全中学校が職場体験学習に取り組み、充実した活動を行うことができた。 〇実施校　市内中学校８校 〇対　象　中学２・３年生（新谷中学校） 中学２年生（他の中学校） また、各学校において地域の実情や学校及び学級における創意工夫を生かした形で活用する「キャリア・パスポート」の積極的な活用を呼び掛けた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	200	179	236	90
	決算額	31	43	15	35
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	15.5%	24.0%	6.4%	38.9%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	31	43	15	35

事業の成果	各中学校が主体となり、生徒が希望する事業所等において職場体験学習を行った。生徒自身が活動に向けて、事前・事後の学習を自主的に行うことができ、地域に根差した地元事業所の良さを体得することができた。また、多くの事業所の協力により、働くことの意義や今後の望ましい職業観や勤労観を身に付けることができた。

自己評価	所属長	〇	担当者	〇

課題・問題点	事業所には多大な協力をいただいているが、各中学校の活動期間が重なった場合は、令和4年度も、５日間同一事業所で活動することは難しい。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	２　郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主要施策	２　国際感覚豊かな人材の育成				
事業名	13　ＡＬＴ活用指導充実事業				
目的	中学校及び小学校５、６年生における外国語指導、小学校３、４年生における外国語活動の補助を行い、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、外国語教育の充実と新学習指導要領への円滑な移行を図る。				
事業実施状況	外国語教育の充実及び国際交流の発展を図るために、外国語指導助手（ＡＬＴ）を大洲地域に５人、長浜地域に１人の計６人を配置し、それぞれの地域の小中学校で外国語教育に従事することとしている。 令和４年度において、在籍する６人のうち２人が任期を終えたが、その後新たに２人の配置を確保できたため、引き続き６人体制で実施ができた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	26,870	29,213	28,966	32,557
	決算額	25,285	19,731	16,589	27,931
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	94.1%	67.5%	57.3%	85.8%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	25,285	19,731	16,589	27,931

事業の成果	小学校高学年における外国語教育の教科化及び中学年の外国語活動の開始に伴う教員の英語指導の向上を図ることができた。また、公民館での英会話教室を通じて、自国の文化や慣習の説明を行う等、地域住民の異文化理解にも貢献している。			
自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	長期休業中におけるＡＬＴの活用について、検討する必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	２　郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主要施策	２　国際感覚豊かな人材の育成				
事業名	14　英語コミュニケーション能力育成事業				
目的	ＡＬＴ、英語教員との合宿生活や中学生海外派遣等を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、英語に対する関心を高め、幅広く世界で活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する。				
事業実施状況	市内の中学校２・３年生を対象に参加者を募集し、夏季休業中に１泊２日の「英語キャンプ」を計画した。26人の応募があり、実施に向けて準備を進めていたが、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策のため、宿泊は中止し、日中の活動のみ実施した。 また、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限等により、令和２～３年度において中学生海外派遣事業を中止としていたが、令和４年度には代替事業として国内Ｅｎｇｌｉｓｈ　Ｃａｍｐを大阪市（ＹＯＬＯ　Ｂａｓｅ）において実施し、25人を派遣することができた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	143	143	143	3,143
	決算額	95	0	51	3,028
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	66.4%	0.0%	35.7%	96.3%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	2,000
	一般財源	95	0	51	1,028

事業の成果	今年度は外部講師を招聘したり、新しいプログラムを準備したりすることができた。宿泊での研修はできなかったが、日中の活動は活発な英語活動での交流が実施できた。 中学生海外派遣については国内実施とはなったが、参加者からは、英語力が向上した、代替事業としては充分なものであり、コロナ感染拡大が落ち着いたら是非海外へ行ってみたいとの感想を受けた。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点	本来は、宿泊を通して生徒・教師相互のコミュニケーションを図りながら、英語活動に親しむことを目的としているため、令和5年度は、宿泊して活動を実施したい。また、中学生海外派遣については、実際に海外に出向く本来の派遣の形に戻せるよう調整したい。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	１　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	３　個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主要施策	１　ＳＤＧｓの理念を取り入れた学習の推進				
事業名	15　主体的、対話的で深い学びの推進				
目的	主体的、対話的で深い学びを実現し、新しい時代に求められる資質・能力を育成する学習活動を推進していく。協働学習、地域の人や教職員との対話、ＩＣＴの活用等の有効な方法を適切に実施しながら、子供たちの学力向上に努めていく。				
事業実施状況	６月21日に、学力向上推進主任・ＩＣＴ教育主任を対象に、愛媛県教育センターから指導主事を講師に招いて、オンデマンドによる「主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善～思考ツールの活用～」を開催した。コロナ禍における対話的な学習を推進する上で有効な手立てとなる学習支援ソフト(ロイロノート)について研修を深めた。 11月11日(大洲小学校：デジタル教科書の活用)と、２月14日に(肱川中学校：社会科)開催した学力向上推進主任研修会においては、第２専門委員会が作成した「おおずの授業スタンダード」に沿った授業、ＩＣＴ機器を活用した対話的な学習についての授業研究を行った。また。各校にも「おおずの授業スタンダード」に沿った授業研究を行うよう呼び掛けた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	主体的、対話的で深い学びについて、授業参観及び授業研究を通して学ぶことができた。また、ＩＣＴ機器を活用した対話的な学習の推進も図ることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	ＩＣＴ機器を活用した対話的な学習について、さらに、研究を進めていかなければならない。コロナ禍での経験や学びを生かした、コロナ対策後の協働学習や体験学習の在り方や実践方法についても、改善していかなければならない。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	3　個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主要施策	2　特別支援教育の充実				
事業名	16　こども発達支援室と他部署との更なる連携強化				
目的	障がいのある子供に対する早期からの一貫した支援の充実を図ることを目的とし、地域の幼児児童生徒の実態把握や支援について保護者や学校等に助言するとともに、関係機関の連携を図る。				
事業実施状況	○　大洲市特別支援連携協議会 ○　発達支援センター等連絡会 ○　早期支援連携協議会（Web会議） ○　南予地域発達障がい支援ネットワーク会議 ○　大洲市障がい者自立支援協議会 ○　保健センター連絡調整会議 ○　３歳児健診カンファレンス ○　幼稚園･保育所･こども園、小学校、中学校への巡回相談 ○　発達障がい児家族等支援事業の準備 大洲市特別支援連携協議会を開催したり、様々な会に参加したりすることで、他機関との連携を図った。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	5,093	6,548	7,379	7,312
	決算額	4,637	5,566	6,297	6,910
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.0%	85.0%	85.3%	94.5%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,637	5,566	6,297	6,910

事業の成果	大洲市特別支援連携協議会において「大洲市の子育て★きらめきサポート★」を作成したことにより、市内の関係機関における支援内容を確認し、連携を深めることができた。			
自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	作成した「大洲市の子育て★きらめきサポート★」を広く周知し、有効に活用し、各課の連携を更に深める。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	1　未来を拓く子どもの育成				
基本方針	3　個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主要施策	2　特別支援教育の充実				
事業名	17　こども発達支援センターへの移行検討				
目的	障がいのある子供が、地域で生活できるように、早期からの一貫した支援のさらなる充実を図る。そのため、子供を取り巻くすべての関係機関が連携し、支援できる体制を整える。				
事業実施状況	○　大洲市特別支援連携協議会開催（２回） ○　大洲市特別支援連携協議会こども支援部会開催（２回） ＜連携した機関＞ ○　学校教育関係者 ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 ○　行政機関 ・保健センター・社会福祉課・愛育ホーム ・子育て支援課・保育所・親の会・事業所等 大洲市特別支援連携協議会において、保護者の相談窓口を明確にするための「大洲市の子育て★きらめきサポート★」を作成した。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額		0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分			ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源		0	0	0

事業の成果	「大洲市の子育て★きらめきサポート★」を作成する際に、各機関の役割を整理したことにより、これらの窓口を一本化するために発達支援センターの設置が必要性であることを再確認した。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	センター化に際しては、様々な分野の専門家が必要であるため、それが常駐できる体制作りをどうすればいいのか。センターの組織編成をどうしていくのか。どこに、どのような施設を確保していくのか検討する必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	１　社会教育事業の推進				
事業名	18　自治組織と公民館の在り方の検討				
目的	市町村合併後17年が経過し、様々な課題が生じていることから、各公民館長・分館長の意見などを基に地域の実情を調査し、今後の地区公民館の在り方、職員配置等について検討する。				
事業実施状況	令和３年度に、自治会連絡会議の代表及び公民館長会の代表者等で組織する大洲市地域自治組織再編検討会議を設置し、地域自治組織（自治会と地区公民館）の現状と課題を明らかにするとともに、大洲市地域自治組織再編基本方針を決定した。 令和４年度は、基本方針に基づき、組織の名称をはじめ、組織や職員体制、地域一括交付金など、より具体的な検討を進め、中間的な方向性を取りまとめた再編方針原案が、検討会議において了承された。 第６回大洲市地域自治組織再編検討会議　令和４年６月28日（火） 第７回　〃　令和４年８月25日（木） 第８回　〃　令和４年10月24日（月） ●大洲市自治会連絡会議、大洲市公民館長・分館長会への検討経過説明　令和４年11月28日（月） ●大洲市議会への検討経過説明　令和５年１月31日（火） 第９回　〃　令和５年２月24日（金）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	令和３年度に決定した基本方針に基づき、検討会議の議論をもとに検討を進めて、議会及び関係者（自治会長、公民館長・分館長）に検討経過説明を行い、市としての地域自治組織再編の原案となる「地域自治組織再編方針（案）」を決定した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	今後は、地域自治組織再編方針原案を基に、市内全33自治会で地区説明会を行い、「大洲市地域自治組織再編方針（最終）」を決定する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	１　社会教育事業の推進				
事業名	19　新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全面に配慮した成人式の開催				
目的	次代を担う新成人者を招待し、祝福及び激励をするため、成人式を開催する。				
事業実施状況	大洲市に在住しているか、または在住したことがある新成人者を招待し、令和４年度式典を下記のとおり実施した。 【令和４年度成人式】 １　日　時　令和５年１月８日（日）13：00～ ２　場　所　大洲市民会館 ３　内　容 ⑴式典（記念品・花束贈呈、祝辞、新成人代表のことば等） ⑵記念撮影（地区別） ４　参加者　男161人、女128人　計289人（該当者409人）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	2,088	2,076	2,883	2,176
	決算額	1,493	879	2,102	1,590
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	71.5%	42.3%	72.9%	73.1%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,493	879	2,102	1,590

事業の成果	令和４年度成人式を、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催することができた。参加できなかった新成人や会場に入場できなかったご家族へは、式典の様子をライブ配信した。 懸念された式典参加者からの新型コロナウイルス陽性の確認はなかった。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	成人式の開催にあたっては、その時々に応じた適切な判断が必要となる。必要な感染対策の実施など、ウィズコロナの式典の在り方を検討する必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	１　社会教育事業の推進				
事業名	20　社会教育関係団体活動支援事業				
目的	明るい地域づくりと家庭づくり、健全な青少年の育成と家族のつながり強化のために、社会教育関係団体（大洲市連合婦人会及び大洲市ＰＴＡ連合会）に補助金を交付し、活動を支援する。				
事業実施状況	社会教育関係団体に補助金を交付し活動を支援した。 １　補助金交付額 ⑴大洲市連合婦人会事業補助金　862,000円 ⑵大洲市ＰＴＡ連合会事業補助金　600,000円 ２　補助金交付先の主な活動内容 ⑴大洲市連合婦人会 ①南予地域婦人教育研修会 ②女性リーダー研修 ③大洲市連合婦人会大会 ④機関紙「おおずの婦人」発行 ⑤福祉事業の推進 ⑥青少年の体験活動や交流活動 ⑦家庭教育子育て支援活動 ⑧地域学校協働活動 ⑨福祉施設訪問 ⑵大洲市ＰＴＡ連合会 ①広報誌「ＰＴＡおおず」発行 ②大洲市ＰＴＡ連合会定期総会 ③大洲市ＰＴＡ研究大会 ④女性リーダー研修会への参加 ⑤大洲市ＰＴＡ連合会教育懇談会				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,462	1,462	1,462	1,462
	決算額	1,295	697	1,230	1,462
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	88.6%	47.7%	84.1%	100.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,295	697	1,230	1,462

事業の成果	【大洲市連合婦人会】 コロナ禍３年目となり、引き続き活動が制限される中、学校や地域と連携して活動を継続し、住みよく明るい地域づくりに貢献することができた。 【大洲市ＰＴＡ連合会】 コロナ禍の中、一部実施できなかった事業はあるが、広報誌の発行、研修会、懇談会等の実施により、ＰＴＡ活動を継続した。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	コロナ禍で変容・縮小した社会教育団体の活動を継続していくための工夫が必要である。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	1　生涯学習の推進				
主要施策	1　社会教育事業の推進				
事業名	21　公民館及び分館活動支援事業				

目的

社会教育の拠点施設である公民館及び公民館分館に対して補助金を交付し、その活動を支援する。また、令和４年度から「各地区青少年健全育成事業費補助金」を統合して交付。

事業実施状況

○公民館活動補助金

	公民館名	補助金額
1	肱　南	214,000円
2	肱　北	832,000円
3	久　米	180,000円
4	平	226,000円
5	平　野	171,000円
6	南久米	144,000円
7	菅　田	201,000円
8	大　川	137,000円
9	柳　沢	129,000円
10	新　谷	211,000円
11	三　善	133,000円
12	八多喜	154,000円
13	上須戒	121,000円
14	長　浜	158,000円
15	沖　浦	126,000円
16	今　坊	121,000円
17	櫛　生	124,000円
18	出　海	122,000円
19	大　和	139,000円
20	豊　茂	120,000円
21	白　滝	82,232円
22	肱　川	202,000円
23	河　辺	158,000円

※肱北は駐車場委託料を含む

※白滝公民館 72,768円不執行（コロナ）

合計　23館　4,205,232円

○公民館分館活動補助金

16館　各70,000円

喜多山分館44,683円(25,317円不執行(コロナ))

青島分館3,450円(36,550円不執行(コロナ))　　計1,168,133円

（予子林分館：不交付）

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	4,544	4,544	4,514	5,578
	決算額	4,544	4,354	4,416	5,374
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	95.8%	97.8%	96.3%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,544	4,354	4,416	5,374

事業の成果

コロナ禍において大きなイベントや飲食を伴うものは多くが制限されたが、学級等少人数で行うものは感染対策を講じながら実施し、地域への学習機会の提供、健康づくり、仲間づくり、青少年の健全育成に寄与した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

今後、大きなイベントや飲食を伴うイベント等について、地域住民の理解を得ながら、ウィズコロナでどのような方法なら開催できるかなど、実績のある地域を参考に検討する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	人権学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	１　社会教育事業の推進				
事業名	22　人権・同和教育推進事業				
目的	互いの人権が尊重され、生き生きと暮らせる社会の実現をめざし、公民館の学級講座事業と連動し、同和問題をはじめとする人権問題に関する学習機会を提供する。				
事業実施状況	○主な事業 ・各地区人権教育協議会総会・研修会（23地区） ・地区人権・同和教育懇談会・学習会等実施状況 【地区学習会】 肱北（１回）、大川（１回）、新谷（３回）、出海（１回） 【学級講座】 肱南（２回）、肱北（６回）、久米（３回）、平野（３回）、 南久米（４回）、菅田（１回）、柳沢（１回）、三善（４回）、 八多喜（１回）、上須戒（４回）、長浜（２回）、沖浦（２回）、 今坊（２回）、出海（２回）、大和（２回）、豊茂（１回）、 白滝（１回）、肱川（１回）、河辺（２回） （隣保館事業と共催の場合を除く） ・人権啓発課 人権啓発指導員による講演　27回（718人参加） （研修会、地区学習会、学級講座）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	各地区で人権・同和問題に関する学習会等が毎年実施されている。市人権啓発課と連携して、一人ひとりの人権問題に対する理解を深め、差別解消に向けた取り組みを推進できた。 コロナ禍にあっても、各公民館では積極的に取り組み、学級講座での実施回数が令和３年度の32回から42回へと増加した。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	今後も学習を継続し、各地区であらゆる機会を活用して学習回数を増やし、市民の人権尊重意識の高揚を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	中央公民館	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	２　公民館事業の推進				
事業名	23　大洲市民大学				
目的	市民参加の生涯学習の充実を図り、市民の文化に対する意識の高揚を図るとともに、新たな知識を吸収する場を提供することを目的として、時代や地域課題に即したテーマで大洲市民大学を開催する。				
事業実施状況	健康寿命の延伸を目指すために有用な人材を講師として招き、市民が健康づくりと健康寿命について考える機会を提供した。 【前期】 １　講　師　竹内 孝仁 氏 （一般社団法人 日本自立支援介護・パワーリハ学会会長） ２　演　題　『人生100年時代を元気に生き抜く』 ３　日　時　令和４年８月６日（土）14：00～15：30 ４　場　所　大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール ５　聴講者　104人 【後期】 １　講　師　伊賀瀬 道也 氏 （愛媛大学医学部附属病院 抗加齢・予防医療センター長） ２　演　題　『老化を遅らせるために ～伊予の小京都でアンチエイジングを考える～』 ３　日　時　令和５年２月５日（日）14：00～15：30 ４　場　所　大洲市総合福祉センター　4階多目的ホール ５　聴講者　135人				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,521	1,315	1,315	1,315
	決算額	1,207	0	0	660
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	79.4%	0.0%	0.0%	50.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,207	0	0	660

事業の成果	前期・後期ともに健康寿命の延伸をテーマとし、最新のデータに基づく講演によって聴講者は新たな知識を得ることができた。また、両講師が紹介した手軽に取り組める健康法は、多くの聴講者が「帰ってすぐに取り入れたい」とアンケートにも回答しており、市民の健康意識の向上に寄与できたものと考える。			
自己評価	所属長	◎	担当者	◎
課題・問題点	多くの市民に参加していただくために、多種多様な分野の中から時勢に合ったテーマや講師の選定を行い、有意義な講演会となるよう検討が必要である。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	中央公民館	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	２　公民館事業の推進				
事業名	24　科学体験フェスティバルin大洲事業				
目的	子供たちが科学実験や工作を直接体験し、自然の不思議さや科学の面白さを実感することにより、科学や技術に対する興味や関心を高めていくことを目的に開催する。				
事業実施状況	（桝山教育振興会助成事業） 主に小中高生を対象として、小中学校、高校、高等専門学校等の教員や地域の有志が科学実験や工作等を直接体験できるブースを出展する体験型イベントを実施した。 １　日　時　　令和４年10月15日(土)　10：00～15：30 ２　場　所　　①国立大洲青少年交流の家（メイン会場） 　　②長高水族館（サブ会場） ３　出展数　　22ブース（長高水族館含む） ４　来場者　　1,368人（うち長高水族館は240人） ５　スタッフ　272人				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,568	1,300	1,300	1,783
	決算額	1,568	0	0	1,600
	繰越額	0	0	0	183
	執行率	100.0%	0.0%	0.0%	89.7%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,068	0	0	1,100
	一般財源	500	0	0	500

事業の成果	アンケート結果などから、来場者である子供たちの科学等に対する興味・関心を高めることができたものと考える。また、ブースの企画運営にあたる教職員の資質向上にも寄与することができた。 コロナ禍にあってイベント開催に制約がある中、３年ぶりの開催に多くの方が喜んでくださり、親子のふれあいの場としても役立ったものと考える。			
自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	それぞれの年齢層に応じた体験ができるようにブース内容を工夫する必要がある。また、教員の働き方改革の観点から、出展数の調整や従事内容等の見直しも課題となっている。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	２　公民館事業の推進				
事業名	25　学級講座事業				
目的	すべての市民があらゆる学習の機会、あらゆる場所を利用して、教養の向上、健康の増進を図り、その成果を地域づくり活動に生かすため、地域の実情に応じた多様な学級講座を開設する。				

事業実施状況

中央公民館ほか23公民館において、各種学級・講座を実施することにより、市民への学習機会の提供を図るとともに、自主的な学習活動の支援に努めた。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
公民館名	中央	肱南	肱北	久米	平	平野	南久米	菅田	大川	柳沢	新谷	三善	八多喜	上須戒	長浜	沖浦	今坊	櫛生	出海	大和	豊茂	白滝	肱川	河辺
学級・講座（教室）名	女性	女性	青年	成人	女性	女性	女性	女性	女性	青年	青年	女性	女性	成人	女性	成人	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
	成人	成人	女性	家庭	家庭	成人	成人	成人	成人	女性	女性	成人	成人	家庭	成人	高齢者	高齢者		高齢者	高齢者	成人	成人	高齢者	成人
	家庭	家庭	成人	高齢者	高齢者	家庭	家庭	家庭	高齢者	成人	成人	家庭		高齢者	高齢者	その他					家庭	高齢者		家庭
	高齢者	高齢者	家庭			高齢者	高齢者	高齢者		家庭	家庭	高齢者			子ども						高齢者			
	子ども		高齢者							高齢者	高齢者	子ども												
			その他							子ども														
回数	101	17	144	27	11	23	22	14	18	25	35	59	3	32	11	129	7	6	9	9	19	5	9	18

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	6,426	6,316	6,756	7,636
	決算額	4,766	1,778	1,832	2,718
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	74.2%	28.2%	27.1%	35.6%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,766	1,778	1,832	2,718

事業の成果

コロナ禍の中であったが、地域住民の学習機会や交流の場を奪うことがないよう、各公民館が工夫して感染症対策を講じ、学級講座等を実施することができた。実施回数も令和３年度の704回に対し49回多い753回となった。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

住民の学習活動の場を整え、継続的な教育・文化活動を展開するために、住民ニーズの把握と学級講座内容の改善を図りながら、基本的な感染症対策を講じ、安全な運営に努める必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	３　図書館・視聴覚センター事業の推進				
事業名	26　図書館資料収集整理事業				
目的	生涯学習の拠点のひとつとして、多様な市民ニーズに対応するため、図書等の資料の充実に努めるとともに、文化遺産としての郷土資料を大切に保存し、郷土への理解の深化と郷土文化の向上に努める。				
事業実施状況	○資料収集状況　（桝山教育振興会助成事業） ⑴図書 購入冊数：大4,140、長732、肱520、河213、計5,605 寄贈冊数：大430（うち、桝山文庫152）、長42、肱67、河０、計539 編入他冊数：大59、長１、肱１、河△３、計58 廃棄冊数：大1,871、長805、肱０、河500、計3,176 ⑵ＣＤ 購入本数：大72、長０、肱０、河０、計72 寄贈本数：大０、長０、肱０、河０、計０ 編入他本数：大０、長０、肱０、河０、計０ 廃棄本数：大０、長０、肱０、河０、計０ ⑶ＤＶＤ 購入本数：大40、長０、肱０、河０、計40 寄贈本数：大５、長０、肱０、河０、計５ 編入他本数：大１、長０、肱０、河０、計１ 廃棄本数：大１、長０、肱０、河０、計１ ⑷年度末蔵書数 ①本　　館 166,478 ②長浜分館　28,328 ③肱川分館　14,380 ④河辺分館　　7,888 計　　217,074				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	13,871	14,854	13,476	13,577
	決算額	13,868	14,852	13,474	13,569
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,800	1,800	400	400
	一般財源	12,068	13,052	13,074	13,169

事業の成果	市民のリクエストにも対応し、バランスのとれた図書資料の選定及び購入や、郷土資料の収集に努めるとともに、寄贈献本図書の整理、重要資料の保存や修繕、さまざまな情報収集を行い、市民要望の広範な学習活動に供することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	読書バリアフリー法の制定に伴い、バリアフリー資料の収集のあり方が課題である。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	３　図書館・視聴覚センター事業の推進				
事業名	27　読書活動推進事業				
目的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として事業推進を図る。特に、子供読書活動推進に対する保護者の理解促進を図り、家庭での読み聞かせや読書の重要性を啓発する。				
事業実施状況	○ 主な事業 ⑴生涯学習講座（５月～３月：10回） 参加者：延べ157人 ⑵おはなし会（年間40回） （プラタナスの会、おはなし玉手箱、ビブリオおはなし会、図書館主催おはなし会） 参加者：延べ521人 ⑶読書感想文集（令和４年12月） 応募者：122人、入賞者：20人、佳作者：102人 ⑷読書感想画展（令和５年１月） 応募者：134人、入賞者：123人、観覧者：609人(大洲) ⑸多読書者賞表彰（令和５年３月） 低学年：150冊、中学年：100冊、高学年：50冊（ページ数の場合、３～６年生：10,000ページ）、中学生：30冊 応募者：948人 ⑹うちどく（家読）事業 ①うちどくチャレンジ！努力賞・最多賞表彰（令和５年２月） 努力賞受賞者：82人、最多賞受賞者：４人 ②うちどくチャレンジ！コンテスト表彰（令和５年２月） 学校への応募総数：327人 図書館への応募数（学級３人まで）：104人 最優秀賞受賞者：５人、優秀賞受賞者：５人、佳作者：19人 ③出張「うちどく実践講座」 五郎地区「第1回親子体験学習会」（令和４年５月） 参加者：子供９名、保護者８名、職員等２名 ⑺ブックトーク 大洲農業高等学校（令和４年10月）　対象：全校生徒206名 久米小学校（令和４年11月）　対象：５年生22名				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	764	853	811	964
	決算額	687	782	741	884
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	89.9%	91.7%	91.4%	91.7%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	687	782	741	884

事業の成果	肱北公民館五郎分館の依頼に応え、出張「うちどく実践講座」を行い、家庭への働きかけができた。また、大洲農業高等学校・久米小学校の依頼により「ブックトーク」を行い、読書への関心を持たせることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	うちどく事業の取組状況については、学校等により大きな差があるため、関係施設に対して協力を呼びかけ、出張「うちどく実践講座」の実施回数を増やしていくことが課題である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	３　図書館・視聴覚センター事業の推進				
事業名	28　視聴覚教育推進事業				
目的	視聴覚教材等の整備を図るとともに、学校教育・社会教育の視聴覚教育の発展に寄与する。				
事業実施状況	学校、社会教育施設等で行われる研修や学習会において、効果的な視聴覚教材を提供するため、学校等にアンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。さらに内子町、大洲市の教諭や社会教育担当職員で構成する大洲市視聴覚センター研究委員会を開催し、管内での視聴覚教材や、機器の利用状況を把握した。 ⑴　視聴覚機材及びＤＶＤ教材購入 ・ＤＶＤ教材（人権啓発等）６本 ⑵　教材等利用状況 ・ビデオ：大洲０件、内子０件　合計０件 ・16㎜　：大洲９件、内子０件　合計９件 ・ＤＶＤ：大洲36件、内子15件　合計51件				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	483	483	483	483
	決算額	450	472	477	407
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	93.2%	97.7%	98.8%	84.3%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	450	472	477	407

事業の成果	視聴覚教材を整備し、利用しやすい環境をつくり、情報化社会に対応したマルチメディア教材の普及に努め、学校教育・社会教育における視聴覚教育の振興に寄与した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	教材等の利用数が少ないため、利用者の求める資料の収集、周知方法等について検討する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	１　生涯学習の推進				
主要施策	４　文化研修センター事業の推進				
事業名	29　パソコン教室事業				

目的

初級操作から、インターネットや３級検定に至るまで、特にニーズの高いパソコン教室を開催し、市民に生涯学習の場を提供する。

事業実施状況

令和４年度においては、前期・中期・後期の３回開講した。

前期◆開講時期　令和4年７月6日～9月1日

コース名	回数	受講者数	修了者数
初級コース（昼）	計8回	2　名	2　名
初級コース（夜）	計8回	2　名	2　名
初級インターネットコース（昼）	計8回	2　名	2　名
デジタル画像・映像編集コース（夜）	計8回	1　名	1　名
ＰＣ検定コース（文書作成3級）（夜）	計8回	3　名	3　名
計	計40回	10　名	10　名

中期◆開講時期　令和4年10月5日～12月7日

コース名	回数	受講者数	修了者数
初級コース（昼）	計8回	3　名	3　名
初級コース（夜）	計8回	4　名	4　名
中級インターネットコース（夜）	計8回	4　名	4　名
ＰＣ検定コース（データ活用3級）（昼）	計8回	5　名	5　名
計	計32回	16　名	16　名

後期◆開講時期　令和5年１月11日～３月9日

コース名	回数	受講者数	修了者数
中級インターネットコース（昼）	計8回	3　名	3　名
ＰＣ検定コース（文書作成3級）（夜）	計8回	3　名	3　名
デジタル画像・映像編集コース（昼）	計8回	5　名	5　名
ＰＣ検定コース（データ活用3級）（夜）	計8回	4　名	4　名
計	計32回	15　名	15　名

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,161	1,092	878	1,092
	決算額	586	1,079	583	1,083
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	50.5%	98.8%	66.4%	99.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	586	1,079	583	1,083

事業の成果

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、前期・中期・後期と３回の実施時期を設け、年度内に初級コースから３級検定コースまで受講することが可能となった。

本事業を実施することにより、学習機会の提供及び個人スキルの向上に寄与することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

受講生が減少している状況であるため、広報、事業内容等、広く市民が活用できる事業とする必要がある。

また、今後のパソコン教室の在り方について検討する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	１　文化・芸術活動の推進				
事業名	30　親と子のコンサート事業				
目的	国内外で活躍する演奏者の音楽を通して、大洲市民の文化・芸術の向上並びに青少年の豊かな感性及び創造力の育成を目的としてコンサートを開催する。				

事業実施状況

（桝山教育振興会助成事業）

〇おおず親と子のコンサート2022
　～金管楽器とピアノを楽しむ～

■実施日時　令和４年12月10日　14時から
■会　　場　市民会館大ホール
■演 奏 者　長谷川智之（トランペット）、福川伸陽（ホルン）
　　高瀬新太郎（トロンボーン）、山中惇史（ピアノ）
■来 場 者　378名

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,500	1,500	1,000	1,500
	決算額	1,263	0	900	1,414
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	84.2%	0.0%	90.0%	94.3%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	790	0	0	500
	一般財源	473	0	900	914

事業の成果

コロナ感染防止対策に配慮しつつ、親と子のコンサートを３年ぶりに開催した。また、高校吹奏楽部生徒と演奏者との交流を持つことができた。

自己評価	所属長	◎	担当者	〇

課題・問題点

演奏者の選定や、コンサートの開催方法などについて検討していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	2　文化・芸術の振興				
主要施策	1　文化・芸術活動の推進				
事業名	31　文化・芸術団体活動支援事業				
目的	文化・芸術団体の活動支援を行うとともに、文化・芸術に対する市民の意識の高揚を図る。				

事業実施状況

市民の文化・芸術に対する意識の高揚を図るため、文化・芸術活動を実施している団体に対し、事業運営補助として支援を実施した。

1　文化・芸術団体への活動補助
■補助実績　６団体　1,866千円
・長浜地区生活文化祭実行委員会【一部開催】241千円
・柳沢げんじぼたる保存会　120千円
・大洲市文化協会　1,166千円
・かわべ扇子踊り保存会　17千円
・大洲史談会　161千円
・長浜史談会　161千円

2　ながはま赤橋俳句大会
広く投句を募集し、応募された句を選句し、結果を発表した。

3　長浜生活文化祭
新型コロナウイルス感染防止のため、展示会のみ開催した。

4　大洲少年少女合奏団活動支援（桝山教育振興会助成事業）
コロナの影響により活動を休止された。

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	3,026	3,151	3,119	3,136
	決算額	2,858	673	2,286	2,347
	繰越額	0	0		
	執行率	94.4%	21.4%	73.3%	74.8%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	100	0	0	0
	一般財源	2,758	673	2,286	2,347

事業の成果

多くの芸術文化活動がコロナ感染防止対策に配慮した上で活動を再開された。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

伝統文化を継承していくための方策を検討していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	１　文化・芸術活動の推進				
事業名	32　愛媛国際映画祭推進事業				
目的	市民に優れた映像作品の鑑賞機会を提供することで、文化・芸術活動の理解促進を図り、映画を切り口とした交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進する。				
事業実施状況	○愛媛国際映画祭2022大洲市 ～アニメーション作品を楽しもう！～ ■期　日　令和４年９月23日 ■場　所　マリエール大洲 ■内　容　【上映会】 『ミルキーパニックtwelve』 『けものフレンズ2』第1話、第8話 ・沼田心之介監督トークセッション ・声優　小池理子・山下まみ・沼田監督トークセッション ・アフレコ体験 ・アニメソングミニライブ ・コスプレ撮影会 ■来場者　81名				

事業年度		R3	R4		
事業費	予算額	1,848	1,846		
	決算額	1,526	1,613		
	繰越額	0			
	執行率	82.6%	87.4%		
事業区分		補助事業			
財源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	600	600		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	926	1,013		

事業の成果	コロナ感染症対策に配慮しつつ、計画どおり開催することができた。また、コスプレ撮影会などの新規の取組も行う事ができた。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点	県実行委員会の事業見直しにより、令和５年度以降からは２年に１回、主に松山市内で実施されることとなった。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	２　文化財の保存と活用				
事業名	33　文化財保存活用及び顕彰事業				
目的	文化財の保存・活用などに関する指導・支援を行うとともに、見学会などを開催することで市民の文化財への関心と愛護精神の高揚を図る。				
事業実施状況	１　臥龍山荘庭園管理事業の推進 ２「大洲城跡」石垣保存修復事業の推進（都市整備課共同事業） ■二の丸西曲輪（石垣A-2箇所）の石垣積直工事に着手 ■二の丸奥御殿（石垣B箇所）の発掘調査の実施 ３　大洲市埋蔵文化財センター管理及び出土遺物整理の充実 ４　大洲市文化財保護事業補助金の交付 ■申請件数　３件 ■交付決定額　5,064千円 ５　臥龍山荘庭園保存活用計画策定委員会の開催 名勝を適切に保存・活用していくための計画策定事業に着手し、策定委員会を２回開催した。 ■期　日　令和４年11月16日、令和５年２月20日 ６　臥龍山荘庭園国名勝指定記念シンポジウムの開催 ■期　日　令和５年２月19日（日） ■場　所　大洲市役所大ホール ■内　容　【基調講演】名城大学名誉教授、文化庁調査官 【パネルディスカッション】 ■参加者　90名				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	14,407	12,106	15,426	21,476
	決算額	10,758	8,998	10,679	15,650
	繰越額	0	0	0	
	執行率	74.7%	74.3%	69.2%	72.9%
事業区分		補助事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	1,148
	県補助金	623	0	0	484
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	10,135	8,998	10,679	14,018

事業の成果	延期していたシンポジウムを開催でき、文化財の魅力を市内外に広く発信することができた。また保存活用計画策定事業を開始するなど、文化財の保存について推進することができた。
自己評価	所属長　◎　担当者　◎
課題・問題点	文化財の利活用や普及啓発を図るとともに、文化財への関心をより高めるための講演会などを積極的に実施していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	２　文化財の保存と活用				
事業名	34　民俗芸能保存団体活動支援事業				
目的	各地域における民俗芸能保存団体活動の支援と、地域に根付いた歴史・伝統・文化の伝承を図る。				
事業実施状況	１　無形文化財・無形民俗文化財に指定されている団体への活動補助 ■補助実績４団体　786千円 ・主馬神伝流保存会　400千円 ・藤縄神楽保存会　242千円 ・上須戒相撲甚句保存会　０千円 ・青島盆踊り保存会　０千円 ・伊予長浜豊年踊り保存会　80千円 ・豊茂五ツ鹿踊り保存会　０千円 ・大谷文楽保存会　０千円 ・山鳥坂鎮縄神楽保存会　64千円 ２　大洲神伝流保存会日本泳法大会出場事業（桝山教育振興会助成事業） ■第67回日本泳法大会（神戸市） 開催日　令和４年８月20、21日				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,325	1,325	1,325	1,325
	決算額	1,325	795	646	967
	繰越額	0	0		
	執行率	100.0%	60.0%	48.8%	73.0%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金		0	0	
	県補助金		0	0	
	地方債		0	0	
	その他特財	200	0	0	181
	一般財源	1,125	795	646	786

事業の成果	多くの郷土芸能保存団体の活動が新型コロナ感染症対策に配慮した上で実施された。また、地域に根付いた歴史・伝統・文化の継承活動に対する財政的支援を行い、後継者育成などに寄与することができた。
自己評価	所属長　○　担当者　○
課題・問題点	各団体活動及び後継者の育成が課題となってきており、保存団体の活動を広く市民へ周知する取組が必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	３　文化財調査の実施				
事業名	35　指定文化財見直し事業				
目的	指定文化財について、専門家による学術的な再調査を実施することで文化財的価値を明確にし、新たな文化財の発見や指定解除の判断材料とする。				
事業実施状況	市内に存在する指定文化財３件と未指定文化財４件の調査を実施した。 このうち、指定文化財の有形文化財（建造物）については、新資料の調査を行うことで追加指定候補物件１件が見出された。 また、未指定文化財の有形文化財（古文書）、有形民俗文化財、無形民俗文化財の３件が、新たに指定候補物件となる評価を得た。 ■調査物件　７件 ・史跡　３件（汗生城、堀城、菅田城） ・有形（建造物）１件（旧松井家住宅主屋附祝詞） ・有形（古文書）１件（八幡神社文書） ・有形民俗　１件（八幡神社秋祭りの神幸道具） ・無形民俗　１件（八幡神社の祭礼行事とお成り）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	2,272	153	113	183
	決算額	1,449	0	23	15
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	63.8%	0.0%	20.4%	8.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	230	0	0	
	一般財源	1,219	0	23	15

事業の成果	指定・未指定文化財の調査により、本年度４件もの指定候補物件が見出された。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	有形文化財のうち絵画、歴史資料、彫刻などの分野について、専門家を招聘して調査を進めていく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	３　文化財調査の実施				
事業名	36　市内遺跡確認調査事業				
目的	「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた取組として、本市では旧宇和島街道と旧八幡浜街道を対象に、国の史跡指定を目指した調査事業を実施する。また、中世城館跡や弥生時代遺跡などの市内遺跡についても並行して調査を実施する。				
事業実施状況	１　旧街道詳細調査 「八幡浜街道夜昼峠越」は令和５年３月20日に国の史跡に指定され「宇和島街道鳥坂峠越」は国史跡に向けて文化庁へ申請書を提出した。 ２　中世城郭跡調査 肱川地域（汗生城、堀城）、大洲地域（菅田城）の３城跡について、試掘調査を行うとともに縄張図などを作成した。 ３　弥生時代遺跡調査 村島宮の首遺跡について試掘調査を行うとともに、地形測量図の作成や九州大学に石器石材の分析を依頼するなど調査研究を進めた。 【現地指導】 ７/６・３/22　愛媛県教育委員会文化財保護課担当官 １/27　文化庁調査官 ３/27　愛媛大学名誉教授 ３/31　愛媛大学アジア古代産業考古学研究センター長				

		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	7,722	11,834	8,091	3,862
	決算額	7,093	8,739	5,680	3,175
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.9%	73.8%	70.2%	82.2%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	3,520	4,360	2,839	1,540
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	3,573	4,379	2,841	1,635

事業の成果	旧街道詳細調査の調査により、大洲市内初の国史跡が誕生した。			
自己評価	所属長	◎	担当者	◎
課題・問題点	史跡指定後の維持・管理、活用について検討していく必要がある。中世城館跡調査、弥生時代調査は継続して実施するとともに、成果をまとめた調査報告書（後編）の作成が課題である。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	2　文化・芸術の振興				
主要施策	3　文化財調査の実施				
事業名	37　市内絵馬調査事業				
目的	大洲市内66か所の神社に奉納されている江戸時代から大正期までの絵馬約330点について、現状調査を実施し、歴史的価値を明確にする。さらに、大洲市の歴史・文化を継承するために必要と判断される絵馬については、積極的に文化財指定を図っていく。				
事業実施状況	大洲市内16か所の神社に奉納されている江戸時代から大正期までの絵馬約275点について、愛媛大学日本史研究室の協力を得て調査を実施した。 ■調査神社数　16社 長浜地域（11社）、大洲地域（５社） ■調査点数　275点				

		R3	R4		
事業費	予算額	948	1,027		
	決算額	115	715		
	繰越額	0	0		
	執行率	12.1%	69.6%		
事業区分		補助事業			
財源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	115	715		

事業の成果	大洲地域・長浜地域内の神社について現況調査を実施することができた。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	円滑な調査を実施するため、愛媛大学とのさらなる連携及び調整が必要である。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	４　博物館事業の推進				
事業名	38　資料収集整理事業				
目的	大洲市に関係する資料の調査・収集に努めるとともに、企画・特設展の開催に伴う資料調査を実施する。 収蔵資料の整理、目録を作成するとともに、収蔵品管理システムへの登録を行うことで、利用者が利用しやすい環境を整える。				
事業実施状況	１　収蔵資料 ■購入５件 ・新谷加藤山城守関係老中奉書 ・中野和高　色紙画「灯台」 ・香渡晋使用火薬入一式 ・逸山和尚宛加藤泰統書状 ・大洲加藤家関係書画軸物 ■寄贈６件 ・松井家関係書軸・写真 ・亀甲船模型 ・中江藤樹「捷径醫筌」 ・キジ剥製 ・大洲藩関船「渙丸」関係資料 ・大洲藩刀工岡本家作刀・槍など ２　収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM」を活用し、収蔵品管理の効率化を図り、資料調査者へ検索システムを提供した。 ■利用件数 30件				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,298	1,276	1,266	1,653
	決算額	1,110	1,260	1,071	1,619
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	85.5%	98.7%	84.6%	97.9%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,110	1,260	1,071	1,619

事業の成果	大洲市に関する資料の収集に努めた。特に大洲藩刀工岡本家作刀・槍などの寄贈により、藩政期における刀剣資料の充実を図ることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	収蔵資料の増加により収蔵庫が手狭となっており、収蔵スペースの確保が課題である。そのため、資料の受け入れ方法について検討していく必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	４　博物館事業の推進				
事業名	39　展示活動事業				
目的	魅力的な企画・特別展・特設展の開催に努めるとともに、歴史・民俗・自然など、常設展の充実を図る。また、市民ギャラリーなどを開催し、特別展示室の有効活用を図る。				
事業実施状況	１　大洲市立博物館（入館者 4,859人 ） ２　主な展示活動 ■特設展 「大洲ひじかわ川景色」 令和４年４月29日～７月18日 「絵図から見る大洲城」 令和４年８月２日～10月17日 「加藤貞泰・泰興の時代」 令和４年11月１日～令和５年１月29日 「大洲ゆかりの近世和本の世界」 令和５年２月７日～４月16日 ■市民ギャラリー 「シルクロードの旅記録写真展」 令和４年６月14日～７月24日 「第21回レンガのある風景はがきコンクール作品展」 令和４年８月２日～10月２日 「藤樹まつり児童生徒書画作品展」 令和４年10月19日～11月20日 「なぜ？なに？どうして？～市内児童理科作品展～」 令和４年12月14日～令和５年１月９日 「第８回県展入選者（大洲市在住）作品展」 令和５年１月31日～２月19日				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,298	347	347	347
	決算額	1,110	316	341	208
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	85.5%	91.1%	98.3%	59.9%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,110	316	341	208

事業の成果	各種特設展の開催により、市内外の方に博物館の調査・研究の成果を広く提供することができた。 また、様々な巡回展を開催することで、特別展示室の有効活用を図ることができた。
自己評価	所属長　△　　担当者　○
課題・問題点	入館者の増加を図るため、博物館公式ホームページやマスコミ等を活用するとともに、市民に展示内容や魅力が伝わるよう、分かりやすい構成や解説などを工夫する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	文化振興係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	２　文化・芸術の振興				
主要施策	４　博物館事業の推進				
事業名	40　教育活動事業				
目的	一般市民や小学生を対象とした教室・講座などを開設するとともに、博物館報を発行し、生涯学習の機会や情報の提供を行う。				
事業実施状況	1　ふるさと見聞講座（生涯学習講座） ■対象者　一般市民(成人) ■開講実績　７回 ■参加人数　187人 2　大洲歴史文化教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者　小学４・５・６年生 ■開催実績　５回 ■参加人数　79人 3　大洲自然科学教室（桝山教育振興会助成事業） ■対象者　小学４・５・６年生 ■開催実績　６回 ■参加人数　201人 4　史談会活動の支援 大洲の歴史・地理・文化・産業などの研究活動の実施や、毎月実施の例会で成果の発表を行ったほか、年１回研究誌「温古」を発行した。 5　博物館報(第23号)の発行により、博物館情報の発信に努めた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,620	1,620	1,620	1,620
	決算額	1,531	1,535	1,554	1,520
	繰越額	0	0	0	
	執行率	94.5%	94.8%	95.9%	93.8%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	900	900	900	900
	一般財源	631	635	654	620

事業の成果	一般市民や小学生を対象とした講座・教室の開設や博物館展示事業を展開することで、生涯学習の機会を提供することができた。また、博物館報の発行を通して博物館情報の提供を行うことができた。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	所蔵する豊富な資料を学習資源として有効活用していくために、学校をはじめ関係機関と連携を図りながら、魅力ある講座や教室を企画していく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	１　スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事業名	41　大洲市スポーツ推進計画の施策の推進				
目的	「大洲市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進を図る。				
事業実施状況	令和２年３月に策定した「大洲市スポーツ推進計画」に基づき、各施策を推進した。 １　スポーツ機運の定着と地域振興 ■徳森公園多目的グラウンドの復旧 ・令和４年４月　徳森公園多目的グラウンド復旧完了 ■大洲市公式HP、twitter、Facebookを活用した情報発信 ２　スポーツ参画人口の拡大 ■ラケットテニスの普及促進 ・定期開催　５公民館（平、沖浦、白滝、豊茂、大和） ■総合体育館トレーニング教室　前期実施（12人） 後期実施（４人） ３　スポーツ環境の充実と競技スポーツの発展 ■総合型スポーツクラブの情報収集 愛媛県総合型スポーツクラブ連絡協議会において意見交換。 ■宝くじスポーツフェア事業 ・令和４年11月６日（日）、ドリーム・ベースボール開催。 ４　スポーツを通じた交流の促進と地域活性化 ■愛媛ＯＶバスケットボール教室の開催 ・令和４年６月12日（日）開催 ■愛媛ＭＰ公式戦大洲市応援デーの開催 ・令和４年８月27日（土）開催 ■愛媛ＦＣマッチシティの開催 ・令和４年９月24日（土）開催				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	5,120	621	621	621
	決算額	3,716	111	542	689
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	72.6%	17.9%	87.3%	111.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,716	111	542	689

事業の成果	ラケットテニスの普及促進や、プロスポーツを活用した地域活性化などの「大洲市スポーツ推進計画」の各施策を推進した。 八幡浜・大洲地区運動公園野球場・陸上競技場復旧記念イベントとしてドリーム・ベースボールを開催し、スポーツ環境の充実を図るとともに競技スポーツの発展に寄与した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	大洲市スポーツ推進計画の施策の推進は、「大洲市スポーツ推進計画」の各項目に基づき、３年後の数値目標の達成に向け、大洲市スポーツ協会など関係団体と連携しながら、コロナ禍に対応したスポーツイベントを推進する。 ニュースポーツ、プロスポーツを活用した地域活性化に向けた草の根的な継続した取り組みが必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	１　スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事業名	42　健康寿命延伸事業の推進				
目的	健康寿命の延伸に向けて、市民が自主的に取り組める環境づくりを進めるために効果的な「いきいき百歳体操」の普及を図る。 また、総合体育館のトレーニング器具を誰でも気軽に利用できる体制に整える。				
事業実施状況	日常生活に必要とされる動作やそれらに必要な筋力アップに効果がある「いきいき百歳体操」の普及を図るとともに、各公民館にて体験教室を開催した。 また、市民の健康維持と体力向上を図るため、総合体育館においてもトレーニング教室（骨々貯金クラブ）を開催した。 １　「いきいき百歳体操」の普及促進 ■定期開催 ３公民館（久米、豊茂、白滝） ■体験教室 ３公民館（肱南、肱北、櫛生）及び社会福祉協議会のサロン事業にて開催。 ２　総合体育館における教室の開催 ■トレーニング教室（骨々貯金クラブ） ・開催日　【前期】　６月～８月 【後期】　11月～１月 ・場　所　大洲市総合体育館トレーニング室 ・受講者　【前期】　12人 【後期】　４人				

事業年度		R2	R3	R4	
事業費	予算額	523	360	360	
	決算額	424	180	240	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	81.1%	50.0%	66.7%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	424	180	240	

事業の成果	「いきいき百歳体操」の推進により、市民の健康づくり、体力づくりに対する意識高揚及び活性化に寄与した。 「骨々貯金クラブ」の開催により、トレーニング室の利用促進かつ市民の生活の維持・向上につながった。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	「いきいき百歳体操」体験教室の開催後に、定期開催に結び付くようサポートが必要である。 「骨々貯金クラブ」の参加者が減少傾向にあるため、実施内容や方法を検討していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	１　スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事業名	43　ＤＸを活用した事業の推進				
目的	市民の身体活動の減少による筋力量の低下や認知機能の低下などを予防するため、市全体を運動の場として取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸に繋げていく。				
事業実施状況	ＤＸを活用した事業の推進を進めるために、株式会社アールビーズと包括連携協定を締結し、オンラインによるウォーキングイベントを開催した。 １　Let's Doスポーツ事業 ■令和４年６月３日　株式会社アールビーズと包括連携協定を締結。 ２　オンラインイベント ■大洲市民対抗「年越し健康ウォーク」 ・開催日　令和４年12月25日 ～令和５年１月８日 ・参加者　79人 ■大洲市民対抗「菜の花健康ウォーク」 ・開催日　令和５年３月１日 ～令和５年３月31日 ・参加者　154人				

事業年度		R4			
事業費	予算額	2,400			
	決算額	1,020			
	繰越額	0			
	執行率	42.5%			
事業区分		市単独事業			
財源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	0			
	一般財源	1,020	0		

事業の成果	オンラインによるウォーキングイベントを開催することで、ＤＸを活用した事業の推進を図ることができた。 また、ウィズコロナにも対応したイベントが可能になり、市民の健康増進及び健康寿命の延伸に寄与した。				
自己評価	所属長	△	担当者	○	
課題・問題点	オンラインイベント参加者の増加を目指して、アプリ登録の周知が必要である。 包括連携協定により可能になるＤＸを活用した事業の拡大を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	２　新型コロナウイルス感染症対策を講じた各種スポーツイベントの充実と開催				
事業名	44　大洲市カヌーツーリング駅伝大会				
目的	郷土の母なる川「肱川」の自然に親しむことにより、「川」を大切にする意識の高揚を図るとともに、カヌーの普及と生涯スポーツの振興に資する。				
事業実施状況	○大洲市カヌーツーリング駅伝大会 ■実施日時　令和４年８月21日　９時 ■コ ー ス　肱川カヌーコース （カヌー艇庫下河川敷⇔肱川橋） ■参 加 者　126人（19チーム）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	607	712	712	712
	決算額	358	0	0	444
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	59.0%	0.0%	0.0%	62.4%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	358	0	0	444

事業の成果	コロナ感染防止対策に配慮しつつ、新コースで開催し、19チーム（126人）の参加があり、カヌーの普及に寄与することができた。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	コロナ禍でも感染予防対策の徹底を図り、参加者が安全・安心に参加できるよう魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	２　新型コロナウイルス感染症対策を講じた各種スポーツイベントの充実と開催				
事業名	45　大洲市駅伝大会				
目的	大会参加チームの相互交流を深めるとともに、駅伝の普及に努める。また、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図る。				
事業実施状況	○大洲市駅伝大会 ■実施日時　令和４年11月27日　９時30分 ■コ ー ス　若宮堤防～喜多小学校（折返しコース） ■参 加 者　199人（31チーム）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	733	813	813	813
	決算額	733	0	0	604
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	0.0%	0.0%	74.3%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	733	0	0	604

事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで３年ぶりに開催した。参加者の相互交流を深めるとともに、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図ることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	来年度以降、従来の長浜～大洲間のコースに戻すか、魅力ある新コースで開催するか、検討していく必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	２　新型コロナウイルス感染症対策を講じた各種スポーツイベントの充実と開催				
事業名	46　大洲市健康マラソン大会				
目的	市民の体力の向上と健康の増進を図り、明るく豊かな市民生活の実現を目指す。				
事業実施状況	○大洲市健康マラソン大会 ■実施日時　令和５年２月26日　９時20分 ■コ ー ス　喜多小学校～防災センター（折返しコース） ■参 加 者　319人				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	525	899	899	899
	決算額	171	0	0	899
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	32.6%	0.0%	0.0%	100.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	171	0	0	899

事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで４年ぶりに開催した。18部門に分けて行い、市民の体力の向上と健康の増進を図ることができた。
自己評価	所属長　○　　担当者　○
課題・問題点	コロナ禍でも感染予防対策の徹底を図り、参加者が安全・安心に参加できるよう魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	２　新型コロナウイルス感染症対策を講じた各種スポーツイベントの充実と開催				
事業名	47　ドリーム・ベースボール（八幡浜・大洲地区運動公園野球場・陸上競技場復旧記念イベント）				
目的	平成30年７月豪雨災害に伴う八幡浜・大洲地区運動公園「野球場及び陸上競技場」の利用再開時期にあわせて、構成５市町（大洲市・八幡浜市・西予市・内子町・伊方町）のスポーツ少年団チーム等を招待し、復旧記念大会を開催する。				
事業実施状況	○ドリーム・ベースボール（八幡浜・大洲地区運動公園野球場・陸上競技場復旧記念イベント） ■実施日時　令和４年11月６日（日）10時 ■開催場所　八幡浜・大洲地区運動公園野球場 ■参 加 者　783人				

事業年度		R2	R3	R4	
事業費	予算額	281	281	1,000	
	決算額	0	0	442	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	0.0%	0.0%	44.2%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	その他	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	111	
	一般財源	0	0	331	

事業の成果	八幡浜・大洲地区運動公園施設の復旧記念事業として、著名な元プロ選手20人のドリームチームを招き、開催地チームとの親善試合や野球教室などを開催し、青少年の健全育成や明るい街づくりなどコミュニティ活動の充実を図った。

自己評価	所属長	◎	担当者	○

課題・問題点	主催の一般財団法人自治総合センターと共同で開催したが、その方法に疑問を感じる場面が多かったため、単発の事業ではあるが、今後似た事業を検討する際には、留意する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	3　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	3　地域スポーツの推進				
事業名	48　各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業				
目的	生涯スポーツ事業の推進と、余暇を活用したレクリエーション活動の振興を図る。また、スポーツ行事やレクリエーション活動などを行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。				

事業実施状況

各公民館においては、誰もが気軽に参加でき楽しめる様々なスポーツ行事やレクレーション活動などを行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。

○各公民館イベント実施状況

イベント	実施公民館数
レクリエーションバレーボール大会	5
バレーボール大会	1
ゲートボール大会	2
クロッケー大会	1
グラウンドゴルフ大会	4
運動会	0
ソフトボール大会	2
マラソン・ウォーキング大会	4
剣道大会	0
スポーツ教室	0
少年スポーツ大会	0
モルック大会	4

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	2,599	1,935	1,679	1,991
	決算額	2,599	958	724	1,000
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	49.5%	43.1%	50.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,599	958	724	1,000

事業の成果

コロナの影響が続いていたが、健康・体力づくり、仲間づくりから地域連帯意識を高めるとともに、参加者間の親睦を深めることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

コロナも落ち着いてきて従来の活気を徐々に取り戻しつつあるが、今後の開催方法等については、一律にコロナ前に戻すのではなく、新しい方法を検討していく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	3　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	3　地域スポーツの推進				
事業名	49　スポーツ推進委員育成事業				
目的	スポーツ推進委員の資質向上と相互交流を推進するため、各種研修会などへの参加、各種スポーツイベント協力、各地区スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。				
事業実施状況	スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき設置されたものであり、当市では41人に委嘱し、スポーツ振興のため市民に対するスポーツに関する指導・助言のほか、各種スポーツ大会に係る連絡調整を行っている。 1　各種研修会等への参加 ■大洲市スポーツ推進委員会総会　（４月26日　18人） ■愛媛県スポーツ推進委員協議会総会　（５月28日　６人） ■地区別スポーツ推進委員等研修会　（７月２日　６人） ■ウォーキング講習会　（10月15日　７人） ■四国地区スポーツ推進委員研修会（１月21、22日　６人） 2　各種スポーツイベントの協力 ■ドリーム・ベースボール　（11月６日　12人） ■大洲市カヌーツーリング駅伝大会　（８月21日　７人） ■大洲市駅伝大会　（11月27日　11人） ■大洲市健康マラソン大会　（２月26日　13人）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,660	1,348	1,647	1,354
	決算額	1,518	1,228	1,293	1,259
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.4%	91.1%	78.5%	93.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,518	1,228	1,293	1,259

事業の成果	コロナ禍ではあったが、多くの研修会やイベントが数年ぶりに開催することとなった。 市のイベントにも協力していただき、スポーツの推進を図ることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	コロナ禍における新しい形でのスポーツの推進が図れるよう、スポーツ推進委員の意識改革を促しながら、地域スポーツ協会、公民館などと連携・協力し、地域での活躍の場の整備を図っていく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	３　地域スポーツの推進				
事業名	50　体育施設活用事業				
目的	社会体育を通じて地域コミュニティづくりを推進するとともに、学校体育施設（屋外及び屋内運動場）の開放と利用促進を図る。				

事業実施状況

１　学校屋外運動場の利用状況

本　庁	14校	35,915人
長浜支所	２校	1,125人
肱川支所	２校	23人
河辺支所	１校	０人
計	19校	37,063人

２　学校屋内運動場の利用状況

本　庁	15校	59,462人
長浜支所	２校	2,051人
肱川支所	２校	1,186人
河辺支所	１校	０人
計	20校	62,699人

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,056	1,056	1,837	1,325
	決算額	744	810	1,186	1,174
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	70.5%	76.7%	64.6%	88.6%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	744	810	1,186	1,174

事業の成果

コロナの影響により利用者が減少していたが、徐々に回復傾向にある。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

老朽化等により利用に支障がある施設は、優先順位を考えて安全・安心に運営ができるよう修繕を行う必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	４　スポーツ関係団体の育成				
事業名	51　スポーツ協会活動事業				
目的	スポーツ関係団体の指導・育成に努めるとともに、競技スポーツと市民スポーツの中核を担う大洲市スポーツ協会の組織強化並びに活動の充実を図ることにより、市民がスポーツを楽しむ機会の拡充と技術力の向上を図り、健康で明るい市民生活を創出する。				
事業実施状況	大洲市スポーツ協会の活動を支援し的確な指導を行うことにより、協会に加盟している競技団体の競技力の向上を図っている。また、スポーツ祭、駅伝大会、健康マラソン大会などスポーツに親しむ機会を提供し、市民の健康増進とスポーツの普及振興を図っている。 １　スポーツ協会の構成 ■種目別スポーツ団体　22部 ■地域スポーツ団体　　16団体 ■学校体育団体、賛助会員 ２　スポーツ協会の活動状況 ■大洲市スポーツ祭　令和４年10月～令和５年３月 13種目　約1,000人参加 ■大洲市地域スポーツ協会対抗ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ大会 ※新型コロナウイルス感染防止のため中止。 ■大洲市駅伝大会　令和４年11月27日　開催。 ■大洲市健康マラソン大会　令和５年２月26日　開催。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	5,287	5,459	5,570	5,744
	決算額	5,287	5,459	5,570	5,744
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	5,287	5,459	5,570	5,744

事業の成果	大洲市スポーツ協会主催の大洲市スポーツ祭は、コロナ禍ではあったが13種目部で約1,000人の参加を得て開催し、市民スポーツの機会を提供すると共に、競技力の向上と明るい市民生活の実現を創出できた。				
自己評価	所属長	○	担当者	○	
課題・問題点	大洲市スポーツ協会が本市のスポーツ振興の核組織となれるよう、更なる組織強化を図り、各競技団体やスポーツ推進委員と連携して活動の充実を促していく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	４　スポーツ関係団体の育成				
事業名	52　スポーツ少年団等活動事業				
目的	青少年スポーツの普及と指導者の育成及び活動の活発化を図るとともに、各種スポーツ大会を開催する。				

○スポーツ少年団活動事業　　（桝山教育振興会助成事業）

■団　　数　26団
■団 員 数　414人(男255人、女159人)
■指導者数　130人(男104人、女 26人)
（うち認定指導員数　76人）
■種目　ソフトボール、サッカー、ミニバス、剣道、
バレーボール、水泳、軟式野球
■大会　ソフトボール：３回
サッカー　　：２回（うち１回雨天中止）
ミニバス　　：２回
剣道　　：２回

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	546	546	546	546
	決算額	546	217	267	546
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	39.7%	48.9%	100.0%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	200	50	0	200
	一般財源	346	167	267	346

事業の成果	コロナの影響が続いていたが、青少年のスポーツ活動の機会を奪うことがないよう、競技毎に独自の感染予防ガイドラインを策定するなど、感染予防対策を徹底し大会を開催した。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	団員数が減少しているため、団の枠にとらわれず、多くの団員が大会に参加出来るよう、レクリエーション要素を加えた大会等について検討していく必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	４　スポーツ関係団体の育成				
事業名	53　中学校地域運動部活動推進事業の検討				
目的	スポーツ関係団体の指導・育成・活動の充実に努めながら青少年スポーツの普及と指導者の育成を図る。併せて、休日の部活動の段階的な地域移行及び中学校では対応しきれていないスポーツ種目について、学校教育、社会教育及びスポーツ関連団体等と連携を図りながら子供たちのスポーツ活動ニーズに対応できる環境づくりを検討する。				
	休日の部活動地域移行に向けた事業を展開した。 １　合理的で効率的な部活動の推進 ２　課題の抽出 ■小学校５・６年生を対象としたアンケート調査 ■中学校１・２年生を対象としたアンケート調査 ３　地域運動部活動推進事業（国補）の活用 ４　地域実情に応じた地域移行の進め方を検討 ■部活動地域移行検討班会の実施（６回）				

事業年度		R4			
事業費	予算額	0			
	決算額	0			
	繰越額	0			
	執行率				
事業区分		市単独事業			
財源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	0			
	一般財源	0			

事業の成果	想定される懸念事項について検討班会で協議し、令和５年度の事業着手に向け準備を行った。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点	生徒の安全性の確保、指導者、生徒の移動、大会の在り方等、課題は山積しており、実証事業（国補該当）を行いながら課題解消する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	２　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	３　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	５　プロスポーツを活用した地域振興				
事業名	54　愛媛ＦＣ・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業				
目的	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進する。 愛媛ＦＣ「マッチシティ」の観客動員並びに特産物販売などを通した本市の情報発信を行う。				
事業実施状況	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進した。 愛媛ＦＣ「マッチシティ」では、特産品の配布など本市の情報を発信した。 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦は、特産品の当たる抽選会をするなど地域活性化を行った。 １　愛媛ＦＣ公式戦　大洲市「マッチシティ」 ■日時　令和４年９月24日（土） 対　藤枝ＭＹＦＣ ■場所　ニンジニアスタジアム ■観客　2,870人 ２　愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 ■日時　令和４年８月27日（土） 対　香川ＯＧ ■場所　八幡浜・大洲地区運動公園野球場 ■観客　338人 ３　ＰＲＩＤＥ　ＯＦ 中四国　令和４年７月17日（日） ４　愛媛ＯＶバスケクリニック　令和４年６月12日（日）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	494	1,607	507	507
	決算額	494	684	98	507
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	42.6%	19.3%	100.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	494	684	98	507

事業の成果	例年開催している愛媛ＦＣマッチシティと愛媛ＭＰ公式戦に加えて、愛媛ＯＶバスケクリックや「ＰＲＩＤＥ ＯＦ 中四国」など新規事業も展開することができ、地域の活性化に貢献することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	愛媛ＦＣ、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、ＦＣ今治のファン層の拡大を図るため、積極的に公式戦の誘致を図り、市民と選手が交流する機会を増やしていく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	2　生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基本方針	3　スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主要施策	6　スポーツを通じた交流の促進				
事業名	55　愛・野球博関連事業				
目的	2022年に愛媛県で開催が決定したプロ野球オールスターゲームの開催に向けて、地域の特色を生かした様々な盛り上げイベント等を実施し、地域ににぎわいを創出することで機運の醸成を図る。				
事業実施状況	1　2022年プロ野球オールスターゲーム機運醸成ＰＲ事業 ■伊予灘ものがたり　手旗ふり（晴海ふれあいパーク） ■伊予灘ものがたり　ノベルティグッズ配布（伊予大洲駅） 2　マイナビオールスターゲーム2022ファン投票 ■期間　令和４年５月26日～６月19日 ■場所　市内４箇所（肱川支所、長浜支所、平野運動公園、長浜スポーツセンター） 3　オールスターゲーム自治体シンポジウム ■日時　令和４年７月27日（水）15時 ■場所　愛媛県武道館 4　マイナビオールスターゲーム2022　第２戦目 ■日時　令和４年７月27日（水）18時30分 ■場所　松山中央公園内　坊ちゃんスタジアム 5　愛・野球博フィナーレイベント～dreams for the future～ ■日時　令和４年２月５日（日）14時 ■場所　松山市総合コミュニティセンター				

事業年度		R3	R4		
事業費	予算額	2,300	1,194		
	決算額	2,206	694		
	繰越額		0		
	執行率	95.9%	58.1%		
事業区分		市単独事業	その他		
財源	国庫補助金		0		
	県補助金		94		
	地方債		0		
	その他特財		0		
	一般財源	2,206	600		

事業の成果	各事業を通じて、プロ野球オールスターゲームの周知を図ることができた。また、プロスポーツ選手との交流などを通じて、市民がよりスポーツに親しむことができた。			
自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	愛・野球博関連事業は今年度で終了となるので、プロスポーツとの関わりを今後も継続していけるよう検討する必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年育成係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	56　学校・家庭・地域連携推進事業				
目的	家庭や地域の教育力が低下していることから、未来を担う子供たちを健やかに育むため、学校や家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組むことを目的として実施する。				

事業実施状況

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ様々な教育支援活動を実施した。

１　地域学校協働活動　全13本部

「ふるさと学習を軸とし、系統性を重視した各校区の小中一貫教育の推進」の支援

⑴平野小・中学校地域学校協働本部
⑵河辺小学校地域学校協働本部
⑶肱川小・中学校地域学校協働本部
⑷新谷小・中学校地域学校協働本部
⑸粟津小・三善小・大洲東中学校地域学校協働本部
⑹菅田小・肱東中学校地域学校協働本部
⑺長浜小・中学校地域学校協働本部
⑻大洲北中学校地域学校協働本部（R４．５～）
⑼喜多小学校地域学校協働活動本部（R４．９～）
⑽大洲南中学校地域学校協働活動本部（R４.12～）
⑾大洲小学校地域学校協働活動本部（R５．２～）
⑿平小学校地域学校協働活動本部（R５．３～）
⒀久米小学校地域学校協働活動本部（R５．３～）

２　放課後子ども教室

⑴喜多 放課後子ども教室（喜多小学校区）休止
⑵上須戒 放課後子ども教室（喜多小学校区上須戒地区）読み聞かせ、体験活動ほか
⑶平野 放課後子ども教室（平野小学校区）俳句、バランスボール、音楽ほか
⑷白滝 放課後子ども教室（白滝小学校区）宿題、各種体験活動、野球ほか
⑸河辺 放課後子ども教室（河辺小学校区）読み聞かせ、科学教室ほか
⑹大洲 放課後子ども教室（大洲小学校区）休止

３　家庭教育支援（チーム活動）

大洲子育てサポート“そよ風”による家庭教育支援活動

⑴活動日数　198日（月、火、木、金曜日）
⑵相談対応　150件（電話・来所・家庭訪問・事業所訪問）
⑶啓発活動　①情報紙「そよ風通信」配布　年11回（毎回4,700枚）
　　②子育て広場、学習会　11回

４　えひめ未来塾

ひらの未来塾による地元の小・中学生への学習支援活動

⑴活動日数　10日間（夏期休業中）
⑵参加延人数　小学生143人、中学生29人、支援員等：18人、ボランティア：18人

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	7,606	7,365	11,330	18,879
	決算額	5,976	5,677	7,024	9,216
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	78.6%	77.1%	62.0%	48.8%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	1,916	1,889	1,995	3,042
	県補助金	1,916	1,889	1,994	3,041
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,144	1,899	3,035	3,133

事業の成果

コミュニティスクール開始の前年度に地域学校協働活動を実施する計画としていたが、令和４年度で、計画していた全13地域学校協働本部の設置が完了した。
新規事業として、ひらの未来塾を開設した。
新型コロナウイルス感染症の影響により、放課後子ども教室の事業量が減少した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

地域コーディネーターが頑張りすぎず、継続して事業を実施してもらうために、研修会や意見交換会等の開催に取り組んでいく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年育成係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	57　放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）				
目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を利用して、支援員の援助のもと安全な遊びや生活の場を提供することを目的とする。				
事業実施状況	児童が放課後児童支援員の助けを借りながら、基本的な生活習慣や異年齢児童等とのかかわり等を通じた社会性の習得、発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができる「遊びの場」「生活の場」を提供し、子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図るよう保育に取り組んだ。 また、待機児童解消と保育環境の改善を図るため、３つのクラブの移転を行った。このことにより、保育環境の改善が図れ、利用定員を40人増加することができ、利用定員が499人となった。 【平23人増、久米７人増、肱川10人増】 （実施クラブ） 大洲児童クラブ（クラブ１、クラブ２） 喜多児童クラブ（クラブ１、クラブ２） 平児童クラブ　　R４.10.24　平小学校体育館２階へ移転開設 久米児童クラブ　R５.２.10　旧JA久米取扱所２階へ移転開設 平野児童クラブ 菅田児童クラブ 新谷児童クラブ 三善児童クラブ 粟津児童クラブ 肱川児童クラブ　R４.10.４　大洲市アフタースクールひじかわへ移転 河辺児童クラブ　入会児童がなく休所【夏期長期休業中のみ開所】				

事業年度		R2	R3	R4	
事業費	予算額	93,946	124,576	122,863	
	決算額	75,805	99,493	107,527	
	繰越額	1,980	0	0	
	執行率	80.7%	79.9%	87.5%	
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	
財源	国庫補助金	26,449	27,914	28,433	
	県補助金	18,306	25,917	25,534	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	18,305	19,885	22,135	
	一般財源	12,745	25,777	31,425	

事業の成果	コロナ禍においても感染症対策を十分に行い保育を継続することで、保護者の就労時間の確保、子供の居場所の確保に貢献できた。また、計画的な改修、移転により、定員増と保育環境の改善が図れた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	近年、児童数は減少しているが利用希望者は増加していることから、利用定員の増と保育環境の整備を継続して実施していく必要がある。 放課後児童支援員の確保が最も重要な課題である。また、資質向上のための研修内容の充実と研修機会を確保する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年センター	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	58　市ＰＴＡ連合会による青少年健全育成事業への支援				
目的	子供の生活習慣の乱れやいじめ、犯罪の未然防止を目的として「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及に努める。				
事業実施状況	「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」を遵守してもらうため、家庭内のよく見える場所にルールを掲示することを啓発するとともに、市の施設への懸垂幕掲示や市ＰＴＡ連合会委員会活動を利用した啓発活動を実施した。 １　各小中学校への市内統一ルールの啓発 各種会議等での、市内統一ルールの啓発 ２　懸垂幕設置 ⑴期間　令和５年２月１日～３月31日 ⑵場所　市役所本庁舎、公民館、小中学校 ３　大洲市PTA連合教育懇談会 開催日　令和５年１月14日（土） 場　所　国立大洲青少年交流の家 ４　スマートフォン等利用に関するアンケート調査 ⑴時　期　令和５年２月実施 ⑵対　象　小学５年生、中学２年生の保護者				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	大洲市ＰＴＡ連合会が行う、「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及を図るため、家庭への啓発活動を促進した。 また、教育懇談会において、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」の結果を配布し、保護者等が現状を把握できるよう努めた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	スマートフォンやタブレット機器、ゲーム機の普及や、近年のコロナ禍により、子供たちが通信機器等に触れる時間が増えたため、各家庭でのルール作りが今まで以上に重要になってくることから、より一層の啓発活動が必要である。 また、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」を初めてWebで実施したが、回収率が低かった(58.5%)ため、回収率向上への取り組みが必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年センター	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	59　「家族の出番です」通信講座事業				
目的	生涯学習機会の拡充及び家庭教育の深化を図る。				
事業実施状況	主に小中学校の保護者を対象に通信講座「家族の出番です」の通信紙を配布するとともに、関連事業として実施している講演会に案内し、スクーリングとした。 １　運営委員会（運営委員13人） ⑴定例会　令和４年５月16日（月） 令和５年３月８日（水）→中止【書面決議】 ２　通信講座 ⑴発行回数　通信紙年３回発行 ⑵配布先　小中学校の保護者、教職員、行政、関係諸団体等 ⑶配布部数　3,200部 ３　講演会（スクーリング） ⑴大洲市ＰＴＡ研究大会 ①開催日　令和４年10月29日（土） ②場　所　大洲市立粟津小学校 ③参加者　約100人 ④主管校の実践事例等の発表及び講演会 ⑵大洲市青少年健全育成推進大会 《愛媛県青少年健全育成推進大会と共催》 ①開催日　令和４年11月16日（水） ②場　所　国立大洲青少年交流の家 ③参加者　134人				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	573	571	471	453
	決算額	362	272	253	285
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	63.2%	47.6%	53.7%	62.9%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	362	272	253	285

事業の成果	コロナ禍の中であったが、感染症対策を講じて、ほぼ予定通りに事業を実施することができた。通信紙を発行し、子育ての貴重な時期における親子の触れ合いの一助とすることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	親子の触れ合いや家庭教育の充実を図るために、今後も通信紙の発行を継続するとともに、スクーリングについては、開催時期や講演内容等の検討を行い、聴講者の求める内容となるよう努める必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	60　青少年健全育成推進協議会活動支援事業				
目的	各地区（公民館・分館）での青少年健全育成の自主的な活動や運動を推進するために補助金を交付し、活動を支援する。				
事業実施状況	各地区の青少年健全育成協議会が置かれている地区公民館（23館のうち22館）及び分館（19館のうち18館）に、青少年健全育成推進事業補助金を交付することにより、地域総ぐるみによる青少年健全育成推進事業を展開していたが、令和４年度からは公民館活動補助金に統合して交付し、公民館活動で青少年の健全育成に資する事業を展開した。 １各地区での主な事業 ⑴街頭指導 ⑵防犯灯・危険場所点検 ⑶三世代交流事業 ⑷親子料理教室・親子ふれあい研修 ⑸クリスマス会・どんど焼き・マラソン大会等 ⑹卒業記念事業 ⑺懸垂幕等による啓発活動				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,024	1,064	1,064	0
	決算額	1,024	1,064	1,064	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,024	1,064	1,064	0

事業の成果	令和４年度からは公民館活動補助金に統合して交付したが、各公民館においては、三世代交流事業などの様々な活動を通して、青少年の健全育成や非行防止についての共通認識を深めるとともに、学校・家庭・地域の連携の強化を図ることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	令和４年度より補助金を廃止し、公民館活動補助金と一括して交付することにより、地区協議会を廃止する地区がある。そのことを理由に事業がなくなることがないよう、市協議会との連携が必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年センター	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	１　青少年健全育成事業の推進				
事業名	61　青少年センター運営事業				
目的	少年問題を取り扱う関係機関・団体等と緊密な連携を図り、少年補導委員の協力を得て、少年に対する生活指導及び補導活動を総合的かつ効率的に行い、少年の健全育成に寄与する。				
事業実施状況	少年補導委員（93人）による巡回指導や青色防犯パトロール車（通称：青パト）をはじめとする地域の見守り活動の活性化を図り、地域ぐるみの学校安全体制の整備や危機管理に係る学校・地域・ＰＴＡ等の人材・組織の育成とともに、家庭・学校・地域・諸機関との連携強化を図るため、青少年健全育成推進大会・各地区青少年健全育成推進協議会等の充実に取り組んだ。 １　街頭補導 ⑴巡回指導　　約290回（延べ1,612人） ⑵青パト活動　　135回 夜間合同パトロール：令和４年７月４日（月） 令和４年12月２日（金） ２　少年補導委員会 ⑴総　会　令和４年４月11日（月） ⑵理事会　令和４年９月15日（木） 令和５年２月９日（木） ３　青少年健全育成協議会 ⑴協議会　令和５年５月20日（金） ⑵大　会　令和５年11月16日（水） （愛媛県青少年健全育成推進大会と共催）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	2,929	2,956	2,951	2,971
	決算額	2,440	2,529	2,553	2,413
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	83.3%	85.6%	86.5%	81.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,440	2,529	2,553	2,413

事業の成果	少年問題を取り扱う関係機関や団体等と緊密な連携を図るとともに、少年補導委員の地道な活動により、青少年の健全育成に大きく寄与した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	少年補導委員の高齢化によるなり手不足や、市立学校の統廃合計画が完了したことなどから、人材確保と従来の地区別人員について検討を行う必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	青少年育成係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	１　社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主要施策	２　子供読書活動の推進				
事業名	62　第２次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施				
目的	あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するとともに、自主的に読書活動を行うことができるよう、子供や家庭、学校等、地域社会に対する働きかけや環境づくりの施策を推進する。				

事業実施状況

平成30年度からの５年間の推進施策と取組内容をまとめた「第２次大洲市子供読書活動推進計画」の計画に基づき、関係組織（市立図書館・公民館・学校等（保育所・幼稚園含む））による取組を行った。

１　不読率アンケート調査(毎年)の実施
⑴　実施時期　　令和４年９月
⑵　実施内容
　設問：１か月に何冊くらい本を読みますか。
　対象：小学生(全学年)、中学生(全学年)
　　保育所・こども園(５歳児)、幼稚園(５歳児)
⑶　結　果
　不読率：小学生6.4%、中学生20.7%、就学前9.0%、

２　読書に関するアンケート調査(５年毎)の実施
⑴　実施時期　令和５年２月
⑵　対 象 者　小学生(全学年)、中学生(全学年)
　　保育所・こども園(５歳児)、幼稚園(５歳児)
　　保護者(小２、小４、小６、中１、中２)
　　教職員(小・中学校全教職員)

３　大洲市子供読書活動推進委員会の開催
　第１回：令和５年２月21日(火)
　第２回：令和５年３月28日(火)
　※「第３次大洲市子供読書活動推進計画」の策定

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	54	53	53	52
	決算額	23	0	0	21
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	42.6%	0.0%	0.0%	40.4%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	23	0	0	21

事業の成果

不読率等アンケート調査(毎年)」及び「読書に関するアンケート調査(５年毎)」を実施することにより、子供たちの読書の状況を把握し、改善方法をさぐる材料を得ることができた。

自己評価	所属長	△	担当者	△

課題・問題点

両アンケート調査の結果及び「第３次大洲市子供読書活動推進計画」に基づき、不読率を改善していく取組を推進する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	１　相談体制の充実				
事業名	63　スクールソーシャルワーカー活用事業				
目的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う。				
事業実施状況	スクールソーシャルワーカーの専門的な知識や技術を用いて、児童生徒が置かれている様々な環境に対する効果的な働きかけを行ったり、関係機関等とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒に対し支援を行っている。 令和３年度より配置方法を拠点校型から巡回型に変更し、１人のスクールソーシャルワーカーが市内全小中学校を訪問している。 〇主な職歴　心理療法士 ・勤務日数　90日／年、360時間（４h／日、1,002円／h）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	469	1,188	482	444
	決算額	441	444	412	416
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	94.0%	37.4%	85.5%	93.7%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	220	220	220	220
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	221	224	192	196

事業の成果	保護者との面談の機会を多く持ち、学校（教員）と児童の関係性を保ちつつ、保護者自身が抱えている問題にも耳を傾けることで、保護者と学校（教員）との意見や考え方の違いやズレについて軌道修正を行うことができ、互いに協力しながら問題の解決に当たることができている。

自己評価	所属長	〇	担当者	〇

課題・問題点	令和３年度より拠点校型から全小中学校を訪問する巡回型へと変更を行い、現時点では問題ないが、１人の配置であることからきめ細かな対応が必要な事案が多く発生した場合、対応困難になることが想定される。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	１　相談体制の充実				
事業名	64　ハートなんでも相談員設置事業				
目的	生徒指導の充実と安全・安心な学校づくりを推進する。 小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決を図る。				
事業実施状況	小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決に努めている。 菅田小に１人、平小に１人、肱川中と肱川小に兼任で１人の合計３人を配置している。 〇菅田小相談員　元小学校教諭 〇平　小相談員　元小学校教諭 〇肱川中、肱川小相談員　内子高校スクールライフアドバイザー　・勤務日数　70日／年、280時間（４h／日、1,000円／h）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	986	986	970	967
	決算額	974	963	965	966
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	98.8%	97.7%	99.5%	99.9%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	279	279	279	279
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	695	684	686	687

事業の成果	学校行事に積極的に参加して配慮を要する児童生徒に関わることで、人間関係や児童生徒理解を深めることができ、少しずつ問題の改善に向かっている。 相談を受けている児童生徒や保護者について、養護教諭と円滑に情報交換をしていくことで、相談活動の成果を上げることができている。

自己評価	所属長	〇	担当者	〇
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	１　相談体制の充実				
事業名	65　スクールカウンセラー活用事業				
目的	小中学校に、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者を配置し、教育相談体制の充実を図る。				
事業実施状況	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラー等を、中学校区程度の地域を一単位として、その域内にある中学校を拠点校とし、域内の小学校や近隣の小学校を対象校として配置することにより、教育相談体制の充実を図っている。 配置するスクールカウンセラー等 ○スクールカウンセラー（５名） SC①　大洲北中学校（喜多小学校・平小学校） SC②　大洲南中学校（大洲小学校・久米小学校） SC③　新谷中学校（新谷小学校） 肱川中学校（肱川小学校） SC④　肱東中学校（菅田小学校） SC⑤　平野中学校（平野小学校） 長浜中学校（長浜小学校） ○準スクールカウンセラー（１人） 準①　大洲東中学校（三善小学校・粟津小学校） ・勤務日数　39日／年				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率				
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	教職員へのコンサルテーションの充実により、児童生徒に対する心理的理解がより深まり、指導・支援の幅が広がった。 専門的な立場から、問題行動の解決に向けて具体的なアプローチを行うことでスムーズな対応でき、問題や悩みを持つ児童生徒や保護者に対して、学校全体で情報を共有し支援を行うことができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	接続校である小学校への相談業務も徐々に浸透しているが、接続校への勤務が一度もない地域もあり、より一層小中学校で連携が図れるよう周知・啓発を行っていく必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	１　相談体制の充実				
事業名	66　教職員メンタルヘルス・個別相談事業				
目的	児童生徒の多様化・複雑化する課題への対応、また教職員の担当業務増大による心身の疲労から、メンタル面で不調を来たす者が出ている現状を踏まえ、心理療法士を各学校へ派遣して個別相談事業、メンタルヘルスに関する研修会を実施する。				
事業実施状況	１　対象 小・中学校教職員 ２　配置 心理療法士　１人 ３　事業実施形態 各学校へ派遣し、メンタルヘルス上、配慮の必要な教員と面談を行ったり、職員会議等で講義を行ったりした。 ４　訪問実績 ４月：４回（13校） ５月：４回（10校） ６月：４回（11校） ７月：４回（11校） ８月：４回（12校） ９月：５回（15校） 10月：５回（15校） 11月：５回（15校） 12月：５回（13校） １月：４回（13校） ２月：４回（12校） ３月：６回（16校） 54回				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	720	720	720	720
	決算額	699	719	684	648
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.1%	99.9%	95.0%	90.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	699	719	684	648

事業の成果	月初に訪問予定校を計画しているが、急な相談依頼があった場合は、計画とは別に訪問日を設け、本人へのカウンセリングや、校長や養護教諭等に対応の仕方についてアドバイスを行うなど、臨機応変に対応することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	２　不登校への対応				
事業名	67　おおずふれあいスクール運営事業				
目的	不登校対応施設として、大洲青少年交流の家に「おおずふれあいスクール」を設置し、心の居場所の提供に努めるとともに、学校復帰や社会的自立への支援を行う。				
事業実施状況	通所生が伸び伸びとさまざまな活動をする中で、自己を表現したり、自己の存在感を実感させたりし、居場所が実感できるようにしている。 不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対しては、学校や関係機関等との連携を図りながら、基礎学力の補充、学校復帰への支援に努めている。 ひきこもりがちな青年に対しては、社会的自立を促し、就労に向けた支援に努めている。 （活動内容） 〇自主活動 ・基礎学力の補充 ・進学・就労への支援 〇集団活動 ・自然体験活動 （農園体験、園芸体験、ウォークラリーなど） ・社会体験活動 （宿泊体験活動、社会見学）コロナ感染症対策により中止 ・文化・スポーツ体験活動 （読み聞かせ、手芸・工作、調理実習、スポーツ、陶芸、ＡＬＴとの交流など）				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	6,381	6,426	6,127	6,523
	決算額	6,320	5,743	5,777	5,719
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	99.0%	89.4%	94.3%	87.7%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,200	1,200	1,200	1,200
	一般財源	5,120	4,543	4,927	5,323

事業の成果	令和４年度は、９人(小学生２人、中学生６人、青年１人）が登録し通所した。９人のうち、年度末には５人が学校に復帰した。また、中学３年生１人が高校に進学した。 １年間で、相談が３０件、見学・体験が４１件あった。保護者の相談を受ける「たんぽぽの会」を、３０年度から毎月開催しており、令和４年１月からは、保護者が参加しやすいよう「たんぽぽひろば」と名称を変更し、よりきめ細かな保護者支援を行うことができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	通所については、保護者の送迎が必須であるが、送迎が困難な状況があるため、送迎の方法を検討する必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	3　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	2　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	3　安全・安心な学校づくりの充実				
事業名	68　防災・安全教育推進事業				
目的	大洲市防災教育推進連絡協議会を開催し、近隣学校や地域を巻き込んだ活動を進めるとともに、各学校・各園の実情に応じた防災教育・防災管理の充実を図る。				
事業実施状況	肱南公民館にて、幼稚園・小中学校等の防災管理担当者及び市・地域の防災関係機関等の担当者が一堂に会し、協議を行ったり、学校防災アドバイザーの専門的観点からの指導助言を受けたりすることによって、それぞれの連携を促進するとともに、大洲市学校防災マニュアルや各学校及び園の防災マニュアルの改善を図った。 アドバイザーとして参加していただいた各関係機関から、講話をいただいた。国土交通省からは、現行学習指導要領に沿った「肱川流域の防災教育」についての授業展開例を紹介していただいた。また、「系統的な防災教育」についてグループ協議を行い、地域や関係機関と連携した避難訓練等の実施について話し合った。。 要配慮施設における避難確保計画の作成、計画に基づいた避難訓練の実施などに取り組むことができた。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額				
	繰越額				
	執行率				
事業区分		ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業
財源	国庫補助金				
	県補助金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	専門家からの指導助言やグループ協議により、防災・減災に対する意識を高めることができた。また、洪水対策のための避難訓練の在り方等について協議することができた。 市の実態に合った、防災学習について考えることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	４　これからの学校経営の在り方の検討				
事業名	69　学校運営協議会設置事業（コミュニティ・スクールの導入・推進）				
目的	地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。				
事業実施状況	１　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進〈開設計画〉 令和２年度…平野小、平野中 令和３年度…肱川小、肱川中、新谷小、新谷中 令和４年度…菅田小、肱東中、粟津小、三善小、大洲東中、長浜小、長浜中 令和５年度…大洲小、久米小、大洲南中、喜多小、平小、大洲北中 ２　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進〈準備…開設一年前の学校で実施〉 ９月…準備委員の選定 10月…第１回学校運営協議会設置事業準備委員会 11月…啓発リーフレットの配布、アンケートの実施・集計 12月…地域説明会 １月…第２回学校運営協議会設置事業準備委員会（熟議） ３月…第３回学校運営協議会設置事業準備委員会 ３月…学校運営協議会設置申請				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額		260	815	1,735
	決算額		221	795	1,710
	繰越額		0	0	0
	執行率		85.0%	97.5%	98.6%
事業区分		ゼロ予算事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金		0	0	0
	県補助金		0	0	0
	地方債		0	0	0
	その他特財		0	0	0
	一般財源	0	221	795	1,710

事業の成果	年次計画に沿った準備を進め、令和４年度は、大洲小・久米小・大洲南中学校校区と喜多小・平小・大洲北中学校区で各３回の学校運営協議会設置事業準備委員会を開催し、計画していた全ての校区に学校運営協議会を設置することができた。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点	まだまだ立ち上がったばかりで、軌道に乗っているとは言えない。今後、各運営協議会において、地域の特性に合った運営を探っていただきたい。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	４　これからの学校経営の在り方の検討				
事業名	70　学校における働き方改革の推進				
目的	「大洲市立学校における働き方改革検討委員会」を開催し、教職員の働き方を見直し、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう必要事項を検討する。				
事業実施状況	１　小中学校における業務改善の推進と教職員の時間外勤務時間の縮減 ・　令和５年度業務改善計画策定 ・　働き方改革検討委員会の開催（３回実施） ・　スクール・サポート・スタッフの増員計画 ２　大洲市立中学校に係る部活動方針の徹底 ・　方針に基づいた各中学校における推進 ３　ストレスチェック実施要領に基づく、大洲市立小中学校の教職員のストレスチェックの実施 ・　年２回（６月、12月）実施 ・　高ストレス者に対する各学校における面談の実施 ４　部活動地域移行検討班会において、今後の部活動のあり方を協議				

事業年度			R2	R3	R4
事業費	予算額	644	345	342	342
	決算額	398	37	43	38
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	61.8%	10.7%	12.6%	11.1%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	398	37	43	38

事業の成果	全教職員の時間外勤務時間は、コロナ禍以前の令和元年度と比較すると若干減少しているが、まだまだ十分とは言えない。「部活動地域移行検討班会」が立ち上がり、部活動の地域移行ににについて協議することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	働き方改革に向けての意識が、教職員及び保護者に浸透してきたもの、感染症対策をしながら以前の学校行事が復活し、勤務時間の削減につながらななった。一層の対策が必要と考える。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	3　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	2　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	5　被災及び新型コロナウイルス感染に関する児童生徒への支援				
事業名	71　心のケア事業				
目的	災害で心に強い衝撃を感じる体験をしたことにより、今後も身体的・精神的な不調を訴える子供に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を実施し、心のケアを行う。				
事業実施状況	○　特別巡回相談の実施（２回） ・災害体験により、身体的精神的に不調を訴え、不登校傾向になった子供とその親に対し、専門的知識を持った相談員による特別巡回相談を行った。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	412	258	155	104
	決算額	102	0	35	35
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	24.8%	0.0%	22.6%	33.7%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	102	0	35	22
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0

事業の成果	災害により、不調を訴える子供とその保護者に対しての相談を行い、心のケアをすることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	直接的に災害による心のケアが必要な子供は減っているようだが、行動面での落ち着きのなさや人間関係の困難さの原因の一つに、災害の影響があるのではないかと思われるケースが増えてきている。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	６　教職員等の資質の向上				
事業名	72　大洲市教育研究所運営事業				
目的	大洲市の学校教育に関する専門的、技術的な研究調査および教育関係職員の研修を実施する。				
事業実施状況	複雑化・多様化する課題に対して関係機関と連携した取組や研究を進め、研修の充実により教職員の専門的知識や資質の向上に努めた。 ■教育研究所所員、専門委員会等による応募研究および発表 ■小中学校各教科班会、主任会、専門委員会単位での研究、研修会 ■不登校等の事例検討会（学期に１回開催） 小中学校音楽発表会は、小中学校共に今後廃止することを決定した。				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	4,591	7,154	5,111	3,937
	決算額	3,760	4,922	3,754	3,198
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	81.9%	68.8%	73.4%	81.2%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,760	4,922	3,754	3,198

事業の成果	各班会・主任会を中心とした指導方法の工夫・改善を図る授業研究や、夏季休業等を活用した各種研修会や講習会などを通して、教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで成果を上げた。また、成果の一端を「研究紀要」としてまとめることができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点	特になし

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校教育係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	２　子供と向き合う教育環境づくり				
主要施策	７　生徒指導の充実				
事業名	73　いじめ・不登校対策協議会推進事業				
目的	「大洲市いじめ・不登校等対策協議会」において各機関の意見の集約を行うとともに、協議会からの提言を踏まえて、問題解消に努める。				
事業実施状況	大洲市いじめ・不登校等対策協議会を３回開催した。大洲市のいじめ・不登校の実態（いじめの状況・件数・きっかけ・内容、不登校の状況・要因など）について、大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員からアドバイスを受けた。令和４年度は、いじめ認知件数や不登校児童生徒数が増加した。各事例の態様や対応策について協議した。また、提言を各小中学校に周知し、適切に対応するよう働きかけた。 ・校区別「いじめ不登校に関する研修会」を開催し、各地域の実情に即した取組の推進 ・教職員の指導力の向上を図るための講演会の開催 ・各中学校において、生徒対象の「いじめ・不登校に関する研修会」を開催した。 ・ふれあいスクールと連携した不登校児童生徒、保護者への対応				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	276	276	276	261
	決算額	196	175	182	182
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	71.0%	63.4%	65.9%	69.7%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	196	175	182	182

事業の成果	大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員長をはじめ、協議会委員から的確なアドバイスを受けることによって、各機関との連携が図れるなど、大洲市の「いじめや不登校」対策がよりよい方向に向かうことができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	特になし			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校施設係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	１　学校施設・設備の充実				
事業名	74　学校施設耐震対策事業				
目的	児童生徒の安全・安心を確保するため、耐震基準に満たない学校施設の耐震対策を推進する。				

事業実施状況

【事業概要】

「大洲市立学校施設整備計画」に基づき、耐震基準に満たない学校施設の耐震対策及び老朽改修を計画的に実施する。

令和２年度末までに、全ての改築・改修事業に着手しており、耐震化率100％を達成した。また、令和４年度をもって市内全ての耐震化事業が完了した。

【改築】

No.	学校名	区分		R４予算額	R４決算額
		施設	実施内容		
1	肱川中	校　舎 屋内運動場	工事	1,134,699	1,134,081
2	平　小	屋内運動場	工事	253,930	252,422
計				1,388,629	1,386,503

【耐震化率】　100％（小・中学校）　R5.4.1現在

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	1,968,582	1,466,848	622,189	1,388,629
	決算額	1,655,348	1,213,082	619,104	1,386,503
	繰越額	277,368	195,967	0	0
	執行率	84.1%	82.7%	99.5%	99.8%
事業区分		補助事業	補助事業	補助事業	補助事業
財源	国庫補助金	388,147	407,203	209,562	571,084
	県補助金	0	0	8,000	0
	地方債	1,062,400	787,600	377,100	776,500
	その他特財	12,904	12,904	3,226	20,322
	一般財源	191,897	5,375	21,216	18,597

事業の成果

平小学校及び肱川中学校校舎・屋内運動場の改築が完了し、令和４年度末をもって、施設整備計画に基づく耐震化工事は全て完了した。

自己評価	所属長	◎	担当者	◎

課題・問題点

耐震化完了後は、児童・生徒等が安全で安心して学校生活を過ごすことができるよう、学校施設の長寿命化改修を計画的に実施する必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校施設係	年度	R4
基本目標	3　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	3　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	1　学校施設・設備の充実				
事業名	75　学校施設長寿命化改修事業				
目的	施設の老朽化対策、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行うことで、既設施設を80年以上使用できるようにするもの。				
事業実施状況	【事業概要】 大洲市学校長寿命化計画（R3.1策定）に基づき、順次市内小中学校の長寿命化改修工事を計画に実施する。 令和４年度～令和７年度までは大洲南中学校の長寿命化改修工事を下記のスケジュールで予定している。 【大洲南中学校長寿命化改修事業スケジュール】 令和４年度　事前調査 令和５年度　実施設計 令和６～７年度　長寿命化改修工事 【令和４年度　大洲南中学校長寿命化事業調査業務】 ＜業務内容＞ 〇耐力・健全度調査 〇建築基準法適合調査 〇その他法令適合調査				

事業年度		R4			
事業費	予算額	4,109			
	決算額	4,106			
	繰越額	0			
	執行率	99.9%			
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0			
	県補助金	0			
	地方債	0			
	その他特財	0			
	一般財源	4,106	0	0	0

事業の成果	老朽化した大洲南中学校の校舎（3棟）については、物理的な不具合を直し、建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うことにより、30年以上使用することができるという調査結果が得られたため、令和５年度から設計業務の着手を図る。			
自己評価	所属長	〇	担当者	〇
課題・問題点	工事開始後は校舎やグラウンドが使用できなくなるなど、学校現場に大きな負担をかけることから、学校側と十分に協議を行いながら、事業を実施する必要がある。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	教育総務課	係名	学校施設係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	１　学校施設・設備の充実				
事業名	76　閉校施設除却事業				
目的	将来において利活用計画のない閉校施設について、老朽化した施設を撤去することにより地域住民の安全及び施設の維持管理費の節減を図る。				
事業実施状況	【事業概要】 耐震性がなく、地域、民間等の活用予定がない閉校施設について、地元協議を行った上で順次解体している（平成29～30年度：４校７棟、令和２～３年度：５校７棟）の解体工事を実施した。残る施設（延べ22校24棟）は合併特例債の発行期限となる令和６年度までに解体工事を完了させるため、令和２年度に閉校施設除却計画を策定し、令和５、６年度の解体工事に向けて、地元協議・調整を行いながら、令和４年度は設計業務に着手する。 【令和４年度解体工事設計業務】 ５校１園　７棟 ○旧大谷幼稚園園舎・旧大谷小学校教員住宅 ○旧正山小学校プール・教員住宅 ○旧柳沢小学校プール ○旧白滝小学校プール ○旧戒川小学校プール				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	0	117,904	15,806	9,800
	決算額	0	100,438	15,332	8,800
	繰越額	0	0	0	0
	執行率		85.2%	97.0%	89.8%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	85,600	12,400	8,300
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	14,838	2,932	500

事業の成果	地域住民の安全性確保及び維持管理に係る経費を節減するため、残る施設の解体に向けて地元協議を行い、設計業務実施することができた。

自己評価	所属長	○	担当者	○
課題・問題点	除却計画に基づいた解体工事を計画的に実施できるよう設計や地元協議等を行う。また、耐震性のある建物等は、公的施設及び地元での活用や民間業者等の参入を目指すなど、利活用の検討を行う。			

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	２　社会教育施設・設備の充実				
事業名	77　公民館改築事業				
目的	教育施設の耐震対策をはじめとする計画的な整備を推進し、市民が安全で安心して学べる教育環境を確保する。				
事業実施状況	■肱川公民館岩谷分館 肱川公民館岩谷分館移転改築事業は、令和３年５月に本体工事に着工し、令和４年２月に完成。３月22日(火)に落成式を開催した後の４月１日(金)から業務を開始した。 令和４年度には、旧肱川公民館岩谷分館の解体工事及び岩谷分館の排水管維持修繕工事を実施。 ⑴　解体工事 ・旧肱川公民館岩谷分館解体工事監理業務　484,000円 ・旧肱川公民館岩谷分館解体工事　6,490,000円 ・肱川公民館岩谷分館排水施設維持修繕工事　550,000円 計　7,524,000円				

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	227,764	303,114	117,901	7,674
	決算額	221,858	302,768	115,917	7,524
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	97.4%	99.9%	98.3%	98.0%
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	220,800	284,200	84,300	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,058	18,568	31,617	7,524

事業の成果	肱川公民館岩谷分館移転改築事業は、本体工事が完成し備品購入等が完了したことから、新たな施設で業務を開始できた。 また、令和４年度には旧肱川公民館岩谷分館解体工事が完了したことから、一連の事業が終了した。				
自己評価	所属長	◎	担当者	◎	
課題・問題点	今後、「大洲市公共施設等総合管理計画」及び公民館施設等の「個別施設計画」に基づき、計画的な施設整備を推進していく必要がある。				

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	生涯学習課	係名	生涯学習係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	２　社会教育施設・設備の充実				
事業名	78　社会教育施設維持修繕等事業				
目的	市民が安全で安心して学ぶことができるよう施設の維持修繕を行い、延命化を図るとともに、設備の充実を図る。				

事業実施状況

公民館及び公民館並びに図書館において、老朽化している各施設の修繕等を実施するなど適正な施設管理を行った。

《公民館及び分館》

1　工事

- 肱北公民館自動火災報知機設備更新工事　2,530,000円
- 肱北公民館公共下水道接続工事　3,624,000円
- 大川公民館蔵川分館屋上・２階外通路改修工事　2,695,000円
- 出海公民館外部補修工事　1,059,476円
- 菅田公民館外壁補修工事　935,000円
- 肱北公民館五郎分館ホール床改修・玄関スロープ設置工事　1,284,800円
- 三善公民館屋上防水改修工事　7,535,000円
- 平野公民館１階図書室エアコン改修工事　560,000円
- 菅田公民館水道施設修繕工事　462,000円

工事計　20,685,276円

2　修繕

- 雨漏り（１館）、照明（６館）、配管（４館）、浄化槽（１館）
  ドア（２館）、配線・漏電（２館）、トイレ（９館）、建具等（７館）、換気設備（１館）、天井（１館）、消防設備(10館)、集水桝（１館）、公用車（１館）

修繕計　3,827,901円

3　備品購入

- 防煙カーテン（２館）、エアコン（１館）、冷蔵庫（１館）、ＡＥＤ（３館）
  防犯カメラ（２館）、給湯器（１館）

備品購入計　1,485,860円

《図書館及び図書館分館》

1　修繕

- 排煙窓・防火扉調整修繕ほか11件　477,631円

2.　備品購入

- 車いす（２台）　50,000円

事業年度		R2	R3	R4	
事業費	予算額	12,090	11,477	30,429	
	決算額	11,960	11,314	26,527	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	98.9%	98.6%	87.2%	
事業区分		市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	11,960	11,314	26,527	

事業の成果

施設の支障箇所の工事、修繕等を行うことで市民サービス及び利便性の向上が図られた。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

多くの施設が経年劣化による改修・修繕が必要になっている。利用者の安全と利便性に配慮し、緊急性の高いものから順次対処していくことが必要である。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	３　社会体育施設・設備の充実				
事業名	79　社会体育施設の充実と活用				
目的	社会体育施設の設備の充実と利用者へのサービス向上に努め、利用促進を図るとともに、体育施設の改修を行う。				

事業実施状況

徳森公園の改修など体育施設の整備を行い、良質なスポーツ環境の提供と利用者へのサービス向上を図った。

１　総合体育館改修事業
　■ＬＥＤ照明　検討中
　■予約管理システム　検討中
２　喜多灘体育館屋根改修事業
　■喜多灘体育館屋根修繕工事
　・工事請負費　19,690千円
３　徳森公園法面補修工事
　■徳森公園法面補修工事
　・工事請負費　1,994千円
４　その他体育施設整備事業
　■徳森公園グラウンド放送設備更新工事
　・工事請負費　1,133千円
　■徳森公園防砂ネット設置工事
　・修繕料　1,012千円
　■上須戒ふれあい広場駐車場整備工事
　・工事請負費　1,289千円
　■長浜スポーツセンター雨漏改修工事
　・工事請負費　1,298千円

　■上記他
　・修繕料　69件　9,048千円
　・工事請負費　６件　946千円
　・備品購入費　８件　3,397千円

事業年度		R元	R2	R3	R4
事業費	予算額	124,275	71,763	45,133	50,960
	決算額	119,789	65,657	27,576	39,808
	繰越額	0	0		0
	執行率	96.4%	91.5%	61.1%	78.1%
事業区分		その他	その他	その他	その他
財源	国庫補助金	0	0		0
	県補助金	0	0		0
	地方債	0	55,400		19,200
	その他特財	0	0		0
	一般財源	119,789	10,257	27,576	20,608

事業の成果

徳森公園など社会体育施設の改修や備品の購入などにより、利用者の安全性と利便性が向上した。

自己評価	所属長	○	担当者	○

課題・問題点

施設の老朽化や利用者のニーズの変化などを踏まえながら、優先度などを総合的に判断し、計画的な改修による施設の長寿命化を図る必要がある。
また、施設照明のＬＥＤ化を計画的に進める必要がある。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	3　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	3　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	3　社会体育施設・設備の充実				
事業名	80　カヌー艇庫整備				
目的	肱川のカヌーの普及と推進を図る拠点施設として、利用者の利便性や、安全性及び競技力向上等の機能を併せもつカヌー艇庫の移転改築に向けて事業を推進する。				
事業実施状況	肱南地区かわみなと整備等との関連を考慮し、下流側は肱南公民館に経施設し、上流側は柚木地区に新築する「肱川カヌー艇庫整備基本構想」を策定した。 ■大洲市カヌー艇庫整備基本構想策定支援業務 ・支援業務委託料　　484千円				

事業年度		R3	R4		
事業費	予算額	0	484		
	決算額	0	484		
	繰越額	0	0		
	執行率		100.0%		
事業区分		市単独事業	市単独事業		
財源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	0	484		

事業の成果	令和６年度の事業着手に向け、「肱川カヌー艇庫整備基本構想」を策定した。

自己評価	所属長	◎	担当者	○	

課題・問題点	カヌーの普及促進、観光客利用を主眼とし事業を進める必要があり、策定した「肱川カヌー艇庫整備基本構想」をもとに計画的に実行していく。

大洲市教育委員会　主要施策・事業調書

所属名	文化スポーツ課	係名	スポーツ推進係	年度	R4
基本目標	３　豊かな学びを支える教育環境づくり				
基本方針	３　安全・安心な教育環境の構築				
主要施策	４　社会体育施設管理の充実				
事業名	81　大洲市総合体育館等の指定管理体制の構築				
目的	同体育館の管理体制について、創意工夫のある企画や効率的なイベントを実施し、施設利用者の多様な需要に応えながら質の高いサービスの提供を図る。 また、スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営を目指す。				
事業実施状況	大洲市総合体育館等の管理体制について、創意工夫のある企画や効率的な運営などにより、施設利用者の多様な需要に応え、質の高いサービスの提供を図り、効率的、効果的な管理運営をするため、指定管理者制度の実現に向けての検討を行った。				

事業年度		R3	R4		
事業費	予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	繰越額	0	0		
	執行率				
事業区分		市単独事業	市単独事業		
財源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	0	0		

事業の成果	導入に向けての事業を進めていたが、再度検討が必要な事項がでてきたため、停止している。

自己評価	所属長	○	担当者	△	
課題・問題点	総合体育館に限定したものではなく、平野運動公園等を含め大洲市全体で統一したＤＸ制度設計が必要である。				